

School Event Information

学校説明会情報

詳細はHPをご覧ください。



清泉女学院LINE

説明会の情報を随時配信しています。



学校説明会

5月11日(土) 9:30~11:30、13:30~15:30

オープンスクール

6月8日(土) 13:30~16:00

体験授業、クラブ活動体験、説明会などに参加できます。

過去問チャレンジ(午前)

理科実験教室(午後)

8月24日(土)

入試説明会

11月16日(土) 9:30~11:30、13:30~15:30

12月14日(土) 9:30~11:30 (説明は11月16日と同じ内容となります。)

親子見学会

7月20日(土)、3月29日(土)

9:30~11:30

保護者見学会 (AREクラス見学を含む)

4月26日(金)、10月11日(金)、11月29日(金)

10:00~12:00

バザー

6月29日(土)

清泉祭(文化祭)

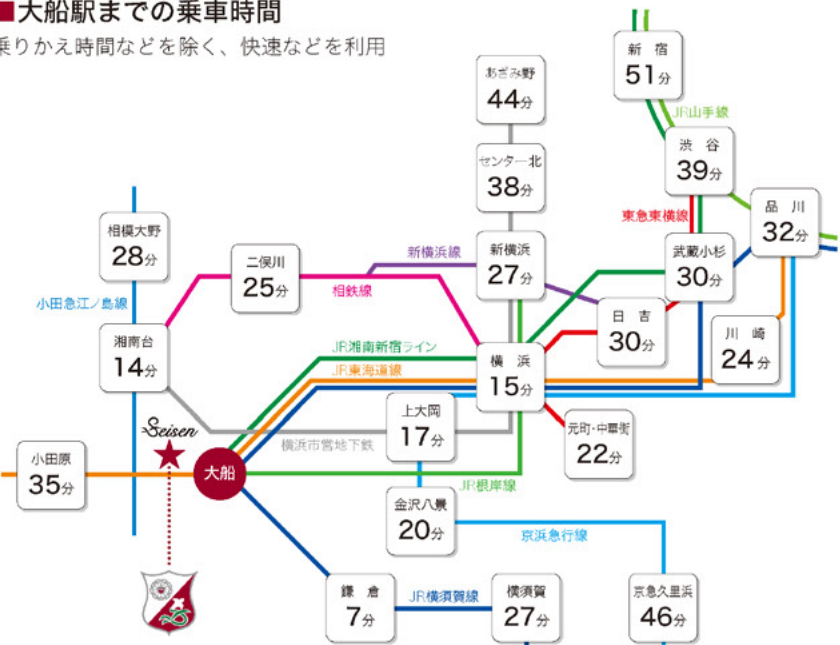
9月14日(土)、16日(月・祝) 9:00~16:00

学校紹介の部屋やミニ説明会もあります。

ACCESS MAP

■大船駅までの乗車時間

乗りかえ時間などを除く、快速などを利用



■周辺マップ



■バスのりば案内



JR大船駅南改札西口(観音側)ブリッジを渡り、観音下バスターミナル3番のりば「清泉女学院」行きバスで終点までご乗車下さい(約5分)。

- ◎来校時はバス(神奈中船35系統)をご利用ください。
- ◎試験当日は臨時バスが運行されます。
- ◎小学生以下はICカードの場合50円で乗車できます。



時刻表

清泉女学院中学高等学校
Seisen Junior & Senior High School
〒247-0074 神奈川県鎌倉市城廻200
Tel 0467-46-3171 Fax 0467-46-3157 <https://www.seisen-h.ed.jp>



清泉女学院中学高等学校

Pure, Virtuous and Loving
Before God

神の み前に 清く 正しく 愛ふかく



[校長メッセージ]

Message from our principal

学校長 小川 幸子

Sachiko Ogawa

清泉女学院中学校は、スペインで設立されたカトリックの聖心侍女修道会によって1947年に創立された学校です。最初は横須賀で開校しましたが、その後鎌倉市城廻に移転して現在に至ります。地名から想像されたとおり、玉縄城という山城のあった跡に位置する本校は周囲を緑に囲まれた豊かな自然の中にあり、生徒たちは相模湾から吹く風、グラウンドの芝の香り、くっきり見える富士山や箱根の山々、鳥のさえずりに季節の変化や美しさを感じながらのびのびと6年間過ごすことができます。

そのような恵まれた環境のもと、清泉では、これからの社会で生きていくために必要な新しい学びを実践しています。中高生をとりまく状況は大きく変わってきました。高等学校3年生の時に多くの生徒は18歳の誕生日を迎え、成人となります。自分たちの判断でできるが増えると同時に責任も大きくなります。生徒たちには自ら主体的に学び、得た知識をもとに実践し、ひいては地域やコミュニティに貢献する、ということが求められています。また、生成AIを始めとするテクノロジーが目覚ましく進歩しているからこそ、ただ便利に使うだけではなく、AIと人間はどう違うのか、本当の人間らしさとは何か、そして他者とのようにかかわっていくのか、といった問いについても深く考える必要もあります。

学びの内容やスタイルが変化する中、現代に必要なサイエンス・ICT教育、グローバル教育、キャリア教育などの新しい教育に取り組んでいますが、その根本に流れるのは一人一人を大切にするキリスト教のヒューマニズムであり、清泉のモットーである「神の み前に 清く 正しく 愛ふかく」です。このモットーは別の言い方をすれば「どのような時でも誠実で、周囲をあたたく照らす人であるように」ということです。このような理念を持つ清泉からはこれまで75年間、多彩な卒業生が巣立ち、実に多方面にわたって活躍しています。

清泉では勉学はもちろんのこと、心を育てるライフオリエンテーション、特色ある異文化交流、活発な課外活動など、豊かな学校生活を送ることができます。ぜひ一度清泉女学院に足をお運びいただき、清泉という学びの場をごらんください。

School Guidebook

CONTENTS

- 02 校長メッセージ
- 03 建学の精神
- 04 清泉が大切にしている10の価値
- Special Program 01
- 05 「ライフ オリエンテーション プログラム」
- Special Program 02
- 07 「グローバル プログラム」
- Special Program 03
- 09 「ライフ ナビゲーション プログラム」
- Special Program 04
- 11 「サイエンス・ICT プログラム」
- 13 進路・進学
- 15 School Life (学校生活)
- 19 School Uniform (制服紹介)

- 21 6年間の学習の流れ
- 31 帰国生について
- 33 進路・合格実績
- 35 学校生活について
- 36 Q & A
- 37 2024年度 入試結果 & 2025年度 募集要項
- 38 沿革 & 姉妹校のご紹介



清泉の豊かな自然と新しい出会い。
 ここは、大きな可能性を秘めたあなたの未来を創造する学び舎。
 清泉からつながる世界は、
 あなたの“輝く場”となるでしょう。



【建学の精神】
 Spirit of Foundation

ラファエラ・マリア・ポラス
 (Rafaela María Porrás, 1850-1925)

永遠の真理であり愛の源である神を敬い、
 キリストの生き方に基づいて、
 神から愛された者として愛し合うこと。

イエス・キリストは、「互いに愛し合いなさい。わたしがあなたたちを愛したように、あなたたちも互いに、愛し合いなさい。」(ヨハネ13章34節)と命じられました。創立者の聖ラファエラ・マリアは、大いなる慈しみをそそいでくださる神に愛で応えることが、人々の和解と平和につながるという考えのもと、世界に広がる修道会と“清泉”を創設しました。この建学精神のもと、清泉女学院は平和の種を蒔く人を育てるため、共通の理念を持つ世界の姉妹校とともに歩んでいます。

【清泉が大切にしている10の価値】

清泉には世界中の姉妹校が共通で大切にしている「10の価値」があります。急速に変化していく現代でも変わらない普遍的なこれらの価値は右図のように表され、「愛」を中心にして「生命の尊重」「無償性」「一致・友愛」「正義・連帯」「和解・平和」「喜び・希望」「真理」「自由」「責任」と広がっています。

この同心円に象徴されるように、清泉では「神から愛されている人」として自分自身の価値を認めて大切にすることから始め、周囲の人々を愛し、さらに世界中の人々と共に行動し、よりよい社会を作るために積極的に貢献する人を育てたいと考えています。

本校では、10の価値の一つずつ月目標として掲げるほか、中高6年間を通じて行われる学年行事を通して学びを深めています。





倫理科主任
小野 浩司

自らの力をどう活かして生きるか

しなやかに強く自分を持ち続け、凛として輝ける女性になること——
ライフオリエンテーションプログラムは、キリスト教精神に基づいて
こころを育てる、本校の教育の根幹をなすプログラムです。一人
ひとりには神に愛されたかけがえのない存在であるということを他者
との出会いによって体験的に知ること、自分のことだけでなく、他

者のために生きるという大きな望みをもって自らの使命に気づくこと
——自分の未来を思い描いていくための大切な基盤はそのような心
を育てることから始まります。さまざまな刺激を受けて自分自身を
インスパイアし、変化し多様化する社会の中で生きていく力を身に
つけていきましょう。

6年間を通して「自分」と出会い、「人」として成長するためのプログラム

中1：愛、無償性

中2：一致・友愛

中3：和解・平和

高1：自由、責任

高2：真理、喜び・希望

高3：正義・連帯、生命の尊重

6年間を通して「清泉が大切にしている10の価値」を身につける

グローバル社会の中では、異なる文化への開かれた心、宗教に対する理解を養うことが必要です。また変化の激しい時代の中では、変わらない大切なものは何かを見極めるため、自己の内省によって自分の軸を作っていくことも重要です。学年行事として全員参加で行われるライフオリエンテーションプログラムでは、生徒の成長と発達段階に応じて学年ごとにテーマを設定し、「清泉が大切にしている10の価値」を身につけていきます。福祉プログラムでは、当事者の方との交流の中で、社会を見る視点と奉仕の精神を育みます。宗教研究では、キリスト教への理解を深める中、クラスやクラブなどとは異なる人間関係を育みます。ポストンカレッジでは、アメリカの大学生と共に精神性を高め、リーダーシップを身につけるプログラムを経験できます。

ライフオリエンテーション

ライフオリエンテーションは人生の指針を見つけ、こころを育てる総合的なプログラムです。生きていくうえで大切な「いのちへのまなざし」「自己との対話」「他者への共感」を育むために様々な体験を学年ごとの行事として用意しています。友達づくりを促進するコミュニケーションアクティビティ、カトリック司祭から聖書や人生の学びを得る講話、広島での平和学習、近隣のカトリック教会訪問、他宗教との交流、自己発見ワークショップ、祈り・瞑想・ミサなどの宗教的な体験、貧困・環境問題について考える参加型授業などを通して、同じ地球で共に暮らす人類の一員として、これからの世界をどのように生きるべきか、体験や人との出会いによって気づきを得て、自分の軸を探していきます。



福祉プログラム

本校では創立以来、他者や周囲に心を配る活動を大切にしています。中学生は、聴覚障がい・視覚障がいをもつ方の講演やハンセン病について学ぶなど、差別や偏見のない社会を目指す教育を行っています。また、高齢者福祉について理解を深めるため、中1は認知症サポート講座を受講し、中3では老人介護施設を訪問します。6年間を通して、卒業生を中心とした講師による講演から考え方や個性の違いを受け入れながら、ともに成長する社会の在り方について学び、自分たちに何が出来るのかを考えていきます。



ポストンカレッジ Ever to Excel

アメリカのポストンカレッジの中にあるイエズス会教育高等研究所 (Institute for Advanced Jesuit Studies) が Ever to Excel というリーダー養成プログラムを実施しており、日本からは本校と栄光学園のみが参加しています。

日本にキリスト教をもたらしたザビエルも創設者の一人であるイエズス会の精神が豊かに息づく大学のキャンパスで、アメリカ全土から集まる高校生・大学生と5日間寝食を共にします。プログラムを通して、人生や友情、愛といった哲学的なテーマを掘り下げて考える中で、自分の変化を実感できます。



Messages From Alumnae

自分を見つめ、
他者を見つめる



永山 結菜

(2022年卒業)
日本赤十字看護大学
看護学部在学

清泉での学校生活や様々なプログラムの中で意見交換することにより、自分にとって何が大切なのか深く考えていくことができました。また、福祉プログラムや宗教研究などに参加したことで、日本国内だけでなく他国にも目を向ける機会を多く持つことができました。それが、「他者のために働く人になりたい」と看護師を目指すことに繋がりました。在学中に自分と他者を見つめ理解しようとした経験は、今大学で自分の看護観を形成していくうえで大事な土台になっていると感じています。

HPはこちらをご覧ください。



Special Program 02
CONNECT To
The World

グローバル プログラム



教頭
ニッ木 睦子

世界の人々と共に生きるために

スペインの修道会を母体とし、世界中に広がる姉妹校をもつ本校では、周りにいる身近な人のためだけでなく、「世界中にいる何億何億という人々をこころに抱くように」という創立者の志のもとに、グローバルプログラムを展開しています。コミュニケーション能力を高めるための語学教育、異文化理解と国際交流の機会のみ

ならず、国際平和や地球環境について同じ家に共に住む地球市民としての責任と自覚を促し、持続可能な社会をつくり上げていく使命感とスキルを身につけるため教科を越えた多様な学びを実践しています。

コミュニケーションツールとしての英語教育
習熟度別授業

レベルに合わせたクラス編成できめ細やかな授業を展開
成績などの基準を満たすことで中2からAE・AREへの編入可

SE (Standard English class)
標準クラス

AE (Advanced English class)
入学時に英検 3 級を取得済みの生徒対象クラス

ARE (Advanced Returnees' English class)
グローバル入試・帰国生試験 B 方式で合格した生徒対象のクラス

本校は中1 から少人数制の習熟度別授業でコミュニケーション能力を養い、インプットとアウトプットをバランスよく配して、自分が伝えたいことを豊かに表現する力を伸ばしていきます。

中1・2はSE・AE・AREの3つのクラスできめ細やかな授業を展開しています。SEは、英語の4技能を基礎から安心して学ぶことのできるクラスで、小学校で学んだ表現を文法の勉強を通して体系化するほか、発表する機会もたくさん用意されています。AEは、海外出版の教科書も併用し、発展的な内容を多く含みます。AREは、2週間に一度の日本人教員が文法等を確認する授業以外はすべてネイティブスピーカーの教員が担当し、リーディング、エッセイライティング、プレゼンテーションをはじめ、様々な活動を通して英語の力を伸ばしていきます。

中3もクラス編成を習熟度別に3つのレベルに分け、その最上位クラス (High Advanced class) は週の半分をネイティブスピーカーが担当し、日本人教員が担当する時間も含めてオールイングリッシュで授業を進めます。

異文化理解・国際交流

夏期アイルランド語学研修は、本校教員も同行するため、安心して参加できるプログラムです。同じく夏期には、米国名門女子大の学生と交流する女子高生のためのプログラムや、カトリック系総合大学ボストンカレッジのプログラム (P6参照) もあります。海外での学生生活を体験することのできるニュージーランドまたはオーストラリアでのターム留学 (3か月間) は、異文化体験と日本での進学準備とを両立できるように日程が組まれています。また、希望者には高校在学時に1年間留学が認められています (留学による単位認定制度により3年間で卒業することができます)。海外研修だけでなく、国内のプログラムも随時紹介しています。



模擬国連大会

模擬国連とは、参加者が指定された各国の国連大使となり、地球規模の課題について交渉や議論を重ね、決議を採択するロールプレイング型の大会です。教科の枠を超えて多角的、能動的に学んでいく中で、グローバルな視点で物事を考える力が身につく、国際平和や地球環境のために行動する積極性が養われます。校内では年2回の模擬国連を実施しています。校外で行われる大会では、JMMUN (ジャパンメトロポリタン模擬国連大会) における最優秀大使賞やポジションペーパー賞などの受賞歴があり、また2024年にタイのバンコクで開催された国際大会では、ベストポジションペーパー賞を受賞しました。



国内外の姉妹校交流

清泉インターナショナルスクール1週間国内留学&ベトナム・スタディーツアー

東京都世田谷区にある清泉インターナショナルスクールでは、世界60か国約650名の生徒が国際バカロレア認定の授業を受けています。本校では、国内でオールイングリッシュの貴重な異文化体験ができる機会として、中3 (希望者対象・条件あり) に、1週間の国内留学期間を設けています (自宅から通学)。

高1・2の希望者には、聖心侍女修道会が運営するホーチミン市近郊のラブスクール (経済的事情で公教育が受けられない子どもたちのための教育施設) のボランティア体験を中心としたベトナム・スタディーツアーがあります。ツアー中には、戦争遺跡を訪れて平和について考えたり、市場に出かけて発展するアジアの現状も視察します。



Messages From Alumnae

他者の立場に立って
物事を考える



田中 ゆず

(2022年卒業)

東京外国語大学 言語文化学部
ベトナム語専攻在学

私は在学中、模擬国連や清泉インターナショナルスクールへの国内留学・ベトナムスタディーツアーなど、様々なプログラムに参加してきました。どの活動も、自分の視野を広げるきっかけとなっただけではなく、相手の立場に立って考える力を養うための貴重な経験となりました。大学でベトナムについて学んでいる現在、自分の価値観や日本での「常識」を軸に考えるのではなく、様々な物事の捉え方があるという視点をもつことは、非常に役に立っていると感じています。

HPはこちらをご覧ください。





進路指導・研究部長
橋本 泰久

未来を切り拓く知を創造する

急速に変化する現代社会において、私たちは予想もしなかった問題や、答えのない問題に直面します。ライフオリエンテーションで見つけた自分の使命を、こうした社会の中で果たして行くには、実際どうしたらよいのでしょうか。多様な社会の中でもあらゆる分野に共通して必要とされるのは、問題に多角的に切り込み、論理性と柔

軟な思考力によって創造的な解決法を見いだす力です。生徒たちは大学の授業体験や職場見学、社会人の講演などを通して社会との接点を経験しながらより具体的に未来を思い描き、将来の目標を明確化していきます。

My Story Project

社会で起っていることに興味・関心を持ち、主体的に関わり貢献する人へ

中1・中2	中3
<ul style="list-style-type: none"> ■ 問いを立てることを学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・オリジナル準備講座 質問づくり・情報収集・テーマ探し ■ Google Workspaceを活用する <ul style="list-style-type: none"> ・夏期ICT特別講座 	<ul style="list-style-type: none"> ■ プレゼンテーション力 ■ コミュニケーション力 ・ My Story Project 発表会

My Story Projectは、中学3年間を通じて探求心を育むプログラムです。「生徒一人ひとりが自分の歩む道を探し、他者に伝えること」を意味しています。①課題の発見 ②情報収集 ③整理・分析 ④まとめ・表現というプロセスに重点を置き、自分らしい表現方法で考えを形にすることを学びます。スライド発表、動画作成、作品制作、論文作成など表現方法は自分で決めることができます。失敗から学ぶ力、諦めないでやりきる力、発信力、協働性、論理的思考力などを作成の過程で体得していきます。学習においても必要な力である、短期的・長期的な目標を立てることや興味関心のアンテナを広げることもつながります。中3の学年末には発表会があり、制作した成果について一人ひとりがプレゼンテーションをします。

キャリア教育

清泉のキャリア教育は、キャリアを「ゴール」ではなく「生き方」と捉えています。自らの生き方を考えるために、多様なキャリアを持つ人々と直接言葉を交わし、それぞれの生き方の根拠をなす思いに触れることを大切にしています。中1・2では「共に生きる」をテーマに障がいや偏見について学んだり、授業を通して世界の課題やその解決のために働く人々について調べたりします。中2・高1では公社ジュニア・アチーブメント日本主催の「Catch Your Dream」を実施しています。社会人ボランティアの方を学校にお招きして、キャリアの価値観と人生の意思決定について伺ったり、高校生自身が将来大切にしていきたい自分軸について考えるためのプログラムです。高2では、大学教授の講演を通して「学ぶこと」の意義について考え、それぞれの進路選択につなげていきます。



社会人・卒業生講演

ロールモデルとなる方の講演を聞き、少し先の目標やライフテーマを言葉にしていけるように導いています。毎年夏に行う卒業生講演「フレッシュマンリターンズ」では、大学1年生を講師に招き、受験体験報告と大学生活について話を聞きます。身近な先輩からの勉強アドバイスや合格の喜び、達成感を聞くことで、モチベーションも上がります。また、生き方や仕事内容についての講演も数多く企画しています。企業による講演では、一つの企業内でも様々な仕事があることや企業による社会貢献などを学び、視野を広げます。多くの分野で活躍している卒業生が講演者として登場する機会も多く、職種や年齢、立場が異なる先輩の話聞くことで、女性の働き方、女性と社会の関わり方を様々な視点から考えることが出来ます。



訪問・見学・出張授業

高1・2の希望者を対象に、裁判所訪問・裁判傍聴、外務省訪問、外資系企業訪問、国会見学（議員対談）、研究室訪問や大学訪問、大学教授による出張授業・講演などの機会があります。

外務省では、女性外交官から国と国民を守るために働くとはどういうことかについて具体的な話を聞き、その意義や働きがい、さらには語学の習得方法について学びます。マイクロソフト社のような企業では、時代の先端を行く企業の文化や働き方を知り、大きな刺激を受けます。そのほかにも、折に触れて異なる業種の企業を訪問する機会があるので、見聞を広げ、働くことの意味や仕事の幅広さについて学ぶことができます。また清泉女子大1日体験授業や大学の研究室訪問、大学教授による出張授業・講演も行われ、ワークショップも校内で経験することができます。



Messages From Alumnae

今の私に繋がる、
中学3年生での学び



石田 愛
(2021年卒業)
上智大学 法学部
国際関係法学科在学

私が国際関係法学科への進学を決めた原点は、中学3年時に日本で難民認定を受けた方から直接お話を伺い、それをもとに論文（現My Story Project）を執筆したことです。日本の難民認定制度の厳しさや、人々の難民に対する意識などを調べていくうちに、法制度そのものへの問題意識と興味関心が芽生えました。大学では、国際法模擬裁判研究会や社会保障法ゼミに所属し、清泉での6年間で培った自ら学びを深める姿勢が活かされています。他者と共に社会に貢献できる人になれるよう、これからも主体的な学びを続けていきたいです。

HPはこちらをご覧ください。



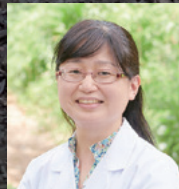
Special Program 04
EXPLORE
the Sciences

サイエンス・ICT プログラム

未知なる世界へ好奇心と探究心を持って

今日、失われた美しい地球環境を取り戻して次世代に継承することが、私たちの課題の一つとなっています。足元の自然の美しさや巧妙なしくみに感動する心から、人知を超えた自然への畏敬の念と興味関心が生まれます。本校では、野外学習や実験観察を通し、自然の事

象から法則性を見出す洞察力と思考力を育みます。また、ICTを活用した協働型の学習を積極的に実践しています。科学技術を、自分の利便性のためだけに使うのではなく、社会をより良くし、環境にやさしく生きるためのスキルとして身につけます。



理科主任
橋 淳子



情報科主任
佐々尾 優佳

理科野外学習

中1：学校内での実習 野外実習入門、校内の動植物の観察、森林観察

中2：箱根 神奈川の地質と火山活動の観察

中3：三浦半島 海岸動物・砂浜の植物、プレートテクトニクスによる地殻変動の観察

高1：真鶴・箱根 照葉樹林と夏緑樹林の観察、乾性遷移と湿性遷移



理科野外学習では、本校オリジナルのテキストとフィールドノートを使用します。中1の野外学習は、学校内で森林観察初級編、植物の分類、森林の土に生息する土壌動物の観察などを一日かけて行い、清泉女学院に広がる豊かな自然から多くの学びを得ています。中2から高1は事前に授業で予習や準備をしたうえで、実際のフィールドで観察や実習を行い、目的地までのバスの中でも理科の教員が車窓から解説します。中2は箱根に行き、大涌谷では生きた火山を体感します。中3は三浦半島に行き、海岸動物や砂浜の植物の生きるための工夫や、様々な地層を観察します。高1は真鶴の照葉樹林と箱根の夏緑樹林の観察を行い、色鮮やかな紅葉の自然林の中に生命の営みを感じます。

実験・観察・授業

実際に自分の手を動かし、五感を使って体験する実験観察を大切にしている本校には、物理室・化学室・生物室・中学理科室の4つの実験室があります。「野菜や校庭のシロツメクサを使った酵素実験」「楽器の音の波形」「食器を使ったやじるべえ」などの身近な素材を使う実験を通して自然現象への興味を深めていきます。また、「豚の腎臓の解剖」「ヒオウギガイの解剖」など、本校の教員が発案した実験も多く実施します。中1の授業では、学校の敷地に咲く6種類のサクラの観察や、1人1台の顕微鏡を使って水中の小さな生物を観察することで、美しい自然が多様性から生まれることに気付いていきます。実験後には、レポートを作成することで科学的に考察する姿勢を養うのが本校の理科教育の伝統スタイルです。



ICT教育

本校は、日本教育工学協会より「教科指導におけるICT活用」「情報教育」「校務の情報化」に積極的に取り組んでいる学校であると評価され、2018年から「学校情報化優良校」として認定されています。中1・2では、夏期休暇のはじめにICT特別講座が開かれます。情報モラルやリテラシーから始まり、タイピング、プレゼンテーションソフト、表計算ソフトなどの基本操作までを幅広く学習します。また、今年度より中1年間を通して体系的なプログラミング学習を開始します。



ICT委員会

ICT委員会は生徒の発意で立ち上がった委員会で、中3から高2までの有志で構成されています。学校生活の中でICTツールがより身近で快適に使えるような環境を整え、学習ツールとして便利で使いやすいものになるように、生徒たちが自分たちの目線で工夫を重ねています。これまでに、タイピングコンテストの主催や、生徒のためのリンク集サイトの作成、教室予約のデジタル化、他校とのオンライン情報交換会の実施など、生徒自ら立案した企画を行ってきました。これらのICT委員会の取り組みは、生徒主体の活動が評価され、「ICT夢コンテスト」において優良賞を受賞しています。



Messages From Alumnae

国家公務員として
原子力規制業務に携わる



戸田 薫
(2015年卒業)
東北大学大学院 理学研究科
物理学専攻修了

在校中、授業や化学部で実験や観察を数多く経験できたことで理学の面白さを知りました。また中3の論文（現My Story Project）で、興味のあるテーマを深く掘り下げられたことはかけがえのない財産です。現在、学協会が定めた民間規格について規制基準を満たすかどうかを確認し必要に応じて規則の解釈を改正するほか、災害時には原子力施設の安全確保に係る対応をしています。立場の異なる人達との調整などに苦労するときもありますが、自分の仕事が人と環境を守ると信じて、業務に取り組んでいます。

HPはこちらをご覧ください。



清泉の学び

進路・進学

本校の在校生は、理系学部、文系学部、芸術系学部や看護医療・福祉系学部と多様な分野に興味を持ち、それぞれの道へ幅広く進学します。生徒一人ひとりの進路希望を叶えるため、教員も一丸となって進路指導にあたっています。



将来のステージへ

清泉では、進路指導の目標を「生徒一人ひとりが、より広い視野を持って自分の理想の将来を実現させること」に置いています。そのため、大学進学だけを目標にするのではなく、将来自分がどのように生きていきたいのか、そのために何を勉強するのか、どこで学ぶのかを自分で考え選択していくことができるように、様々な情報を提供しています。また、受験に向けて実践を意識させるため、中1から模擬試験を積極的に導入し、受験勉強の具体的なイメージをつかめるように卒業生の合格体験記を配信するなどして準備を進めています。

◆進学のしおり(合格体験記・データブック)

毎年、大学受験を経験した卒業生の声をまとめた「合格体験記」と、最新の入試情報を掲載した「データブック」を全校生徒に配信します。志望校の選択基準や教科ごとの学習方法など、成功体験だけでなく失敗談も含めた具体的なアドバイスは、後輩たちのよき指針となっています。

◆夏期講座

基礎力の向上を図るものから、東大・京大・一橋・医学部などを目指すハイレベルな演習、分野別・志望大学別の受験対策、入試問題で出題された実験を実際に行い演習する理科の講座など、毎年様々な講座が展開されています。2023年度は、約50講座が開講されました。

◆大学合同説明会

高校生を対象とした大学合同説明会を校内で実施しています。2023年度は首都圏を中心に約40の大学にご参加いただきました。

◆多様な学校設定科目

高校生を対象に、特色ある科目を開講しています。自分の関心や受験科目に合わせて、次のような科目を選択することができます。

小論文、国語・英語・数学・倫理・音楽特別講義、理科基礎演習、実用英語、美術造形実習、テッサン演習、スペイン語など

◆選択科目：芸術

高2・3では、音大・美大進学希望者に向けた授業を開講します。音楽選択者は講堂で試演会を行い、実技試験に備えます。美術選択者は作品制作だけでなく作品批評も行い、審美眼を養います。

過去3年間の芸術系合格実績

【音楽】東京藝術(1) お茶の水女子(1) 国立音楽(1) 東京音楽(3)
【美術】多摩美術(4) 武蔵野美術(6) 女子美術(8) 東京造形(4)

◆卒業生からのサポート

卒業生が、自分の体験を伝える講演会(P.10「フレッシュマンリターンズ」)や座談会で在校生をサポートしています。

◆面接対策

担任だけではなく、その分野が専門の教員が面接練習を行います。専門分野についてより深いやり取りをすることで、入試で活きるコミュニケーション力を養います。

◆国公立対策

国公立を目指す生徒の希望者対象に、各教科の教員でチームを組み、二次試験対策を個別に行っています。

◆入試直前講座

高3の冬には「共通テスト対策」や「論述対策」を入試直前講座として開講しています。多くの教科で課題の個別添削などもあり、受験生を最後まで強力にバックアップします。

卒業生メッセージ

Messages From Alumnae

2022年卒業 高野 友佳子

東京大学 教養学部 在学

清泉でのたくさんの思い出の中で、特に印象深いのは受験期の経験です。この経験は、今も私を根底から支えてくれています。私が受験期に最も頼りにしていたのは、塾でも親でもなく、清泉の先生方でした。お忙しいにも関わらず手厚くサポートしてくださり、頑張りたいことを思いきり頑張れる環境を作ってくださいました。感謝してもしきれません。また、周りの友達も私を支えてくれました。合格が出たあと、クラスの前の席の友達と一緒に泣いて喜んでくれたのを覚えています。温かく見守ってくれたのだということを実感しました。

これらの経験は私に、いつどんなときでも支えてくれる誰かがいることを教えてくれました。現在は大学で日本文化に関する研究をしています。授業などで忙しく、気持ちが荒むこともありますが、清泉で学んだことを思い出すと、感謝の念とともにもう少し頑張ってみようという気持ちが湧いてきます。清泉での思い出は私のお守りです。



2020年卒業 吉田 愛来

Mary Baldwin University 在学

私は中学の頃に国防に興味を持ち始めました。国内の大学で政治や外交、歴史を学ぶうちに「日本の安全保障を考えるには国外からの視点を知る必要がある」と考え、思い切って3年次にアメリカの大学へ編入しました。現在政治学を専攻し、国際関係学やアメリカの政治について学ぶとともに、VWILという全米で唯一の女性士官候補生隊に所属しています。VWILの仲間たちは、留学生である私を大変歓迎してくれて、今ではすっかり溶け込んでいます。また、現在はアメリカ空軍のROTCにも参加し、より実践を通して学んでいます。

清泉の魅力は生徒の個性を守ってくれる温かい環境だと思います。そして、何よりも先生方や同級生が素晴らしいです！中高の多感な6年間を清泉でのびのびと自由に過ごしたことで、偏見や先入観を持たない柔軟性を養えました。学校の勉強も遊びも将来必ず役に立つので、全力で楽しんでください！将来日本の国防に貢献できるよう、今後も精進します。皆さんも、熱中できることをぜひ見つけてください。



2018年卒業 及川 いずみ

上智大学 総合グローバル学部 卒業

私は今、JICAの職員として途上国と日本を行き来する毎日を送っています。夢だった国際協力を仕事にしている今、振り返ると清泉で学んだ3つの経験が思い出されます。1つ目は、人のために働くって楽しい！という気持ちです。老人ホームや児童養護施設でボランティアをしたり、途上国の支援活動に参加したりする中で、誰かのために働くことが私の幸せ！と気が付きました。2つ目は世界にはワクワクするものがたくさんあると知ったことです。英語を初めて習い、ニュージーランド語学研修に行ったとき、世界地理や世界史の授業で見たこともない写真を見たとき、広い世界を自分の目で見てみたいと思いました。そして3つ目は、好きなことをとことんやっていいという校風です。国際協力を仕事にしたい!と思うようになった私の背中を押していたのは、自由な校風と先生方の応援でした。

みなさんも清泉の生活の中で好きなことを見つけ、そこへ自由に進んでいくことが出来ますように！



School Life

[学校生活]



One day
at SEISEN

登校
清泉生の一日の様子をご紹介します。
(*65分授業です)



1時間目



3時間目



4時間目



終礼
お掃除



朝礼
お祈り



2時間目



昼休み



5時間目



放課後

下校
最終下校は中学生が17:00
高校生が17:30



① 第1グラウンド (200mトラック)



② テニスコート (ハード3面)



③ 第2グラウンド



④ テニスコート (オムニ2面)



⑤ 体育館 (バスケットボールコート2面分)



[施設紹介]

FACILITIES

清泉女学院は北条早雲が築いた玉縄城跡にあります。高台に建つオレンジ色のレンガの校舎が印象的です。教室はすべて南向きに配置され、一日中、太陽が明るく教室を照らします。7万平方メートルを超える自然豊かな環境で、生徒は今日も元気いっぱい学んでいます！



⑥ 講堂 (約1200人収容)



⑦ 本館 (教室)



⑧ 聖堂



⑨ 図書館



⑩ ラファエル館



⑪ マンティアル館 (カフェテラス)



⑫ ラマリヨ館 (同窓会館)

Event Schedule [年間行事]

かけがえない仲間たちと楽しく、感動いっぱいの思い出を作ります。

1 学期

- 4 始業式
入学式
新入生歓迎会
模試(中学)
生徒総会
- 5 オリエンテーションキャンプ(中1)
理科野外学習(中3)
模試(高校)
創立記念日ミサ
中間試験
理科校内野外学習(中1)
- 6 高校合唱祭
生徒総会
理科野外学習(中2)
GTEC(高2・3希望者)
校内大学説明会(高校)
校内模試(高1・2)
バザー
- 7 期末試験
NZオーストラリア タム留学(高1希望者)
国語校外学習 歌舞伎鑑賞(高2)
平和祈念ミサ・終業式
夏休み
ICT 特別講座(中1・2)
夏期講座(中3・高校)
ライフオリエンテーション(中2)
- 8 ベトナムスタディツアー(高1・2希望者)
アイルランド語学研修(中3・高1希望者)
GTEC(高2・3希望者)



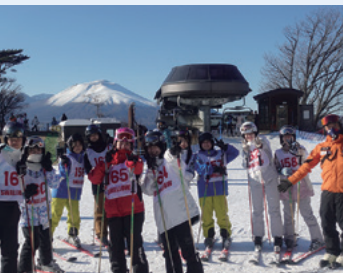
2 学期

- 9 始業式
模試(中学・高3)
清泉祭
- 10 体育祭
生徒総会
中間試験
ライフオリエンテーション(中1)
模試(高校)
- 11 理科野外学習(高1)
模試(中学・高1・2)
卒業試験(高3)
中学合唱祭
- 12 GTEC(高2希望者)
期末試験
ライフオリエンテーション(中3)
クリスマス会
クリスマスミサ・終業式
冬休み



3 学期

- 1 始業式
模試(中学・高1)
NZオーストラリア タム留学(中3希望者)
- 2 模試(高2)
体育校外スキー実習(高1)
清泉インターナショナルスクール1週間留学(中3希望者)
- 3 学年末試験
卒業式
生徒総会
特別授業
ライフオリエンテーション(中3)
修学旅行(高2)
終業式
春休み
イングリッシュ・キャンプ(中1・2希望者)



Student Council [委員会活動]

学校生活は自主性・主体性を持って運営されます。

- 生徒委員会
- 選挙管理委員会
- 常任委員会
- 美化委員会
- 図書委員会
- 保健体育委員会
- 福祉委員会
- ベルマーク委員会
- 放送委員会
- 編集委員会
- ICT委員会
- 実行委員会
- 清泉祭実行委員会
- 体育祭実行委員会
- 合唱祭実行委員会



生徒委員会

学校生活全般に生徒の意見を反映させ、生徒会の目的達成に努めています。



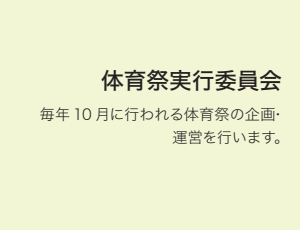
ICT委員会

Chromebookの活用などICTの利用を推進します。



清泉祭実行委員会

毎年9月に行われる清泉祭の企画・運営を行います。



体育祭実行委員会

毎年10月に行われる体育祭の企画・運営を行います。



合唱祭実行委員会

合唱祭(中学・高校)の企画・運営を行います。

Club Activities [クラブ活動]

同じ志を持つ仲間と出会える特別な場所・特別な時間です。



(株)大坂フォトサービス

器械体操部	Sports [運動部]	テニス部
ソフトテニス部		バスケットボール部
ソフトボール部		バレーボール部
卓球部		陸上競技部
ダンス部		



E.S.S.(英語部)	Culture [文化部]	写真部
演劇部		手工芸部
音楽部		書道部
化学部		生物部
華道部		美術部
管弦楽部		文芸部
軽音楽部		料理部



2023年度 部活動の主な実績

- ◆音楽部
 - ・第76回全日本合唱コンクール全国大会金賞・文部科学大臣賞(中学・高校)
 - ・第90回NHK全国学校音楽コンクール全国大会銅賞(高校)
- ◆ソフトボール部
 - ・2023年度神奈川県私立中体連春季ソフトボール部大会準優勝
 - ・2023年度神奈川県私立中体連秋季ソフトボール部大会準優勝
- ◆ソフトテニス部
 - ・神奈川県私立中学校ソフトテニス大会団体の部制清泉女学院中学校Aチーム第三位
 - ・神奈川県私立中学校ソフトテニス大会女子個人の部優勝
- ◆華道部
 - ・2023年小原流学生いけばな競技会南関東地区大会優秀賞

School Uniform

[制服紹介]



制服の詳細はこちらをご覧ください。



【冬服】
ブレザー・スラックス着用

【冬服】
ブレザー着用

【盛夏服】
丸襟

【冬服】

【正装】

【夏服】

【盛夏服】
角襟

School Uniform

冬服

普段はベージュのブラウスと紺のジャンパースカートに、セーターやカーディガン、ブレザーを着用します。入学式・卒業式・創立記念日のミサには、ジャンパースカートに茶色のストッキングを合わせる正装で参列します。



ネクタイ
毎朝ネクタイを結ぶのが、清泉生のルーティーンです。見た目にもきちんとした印象を与えます。

セーター



冬期はソックスの代わりに黒タイツを着用することも可能です。

百合が入ったボタン



真冬には、学校の校章の百合が入ったボタンが特徴のコートを着用します。



スラックス・アクセサリ

スラックスは、夏用・冬用ともウエストにアジャスターが付いているためベルト不要で、ウォッシュアップ素材。靴は茶色のローファーです。バッグだけでなく、マフラーや手袋、傘なども自由です。



校章
清泉の姉妹校でも同じ校章を使っています。校章はバッジになっており、制服の胸のあたりにつけます。

ロゴ入りソックス



自由な通学バッグ



夏服・盛夏服

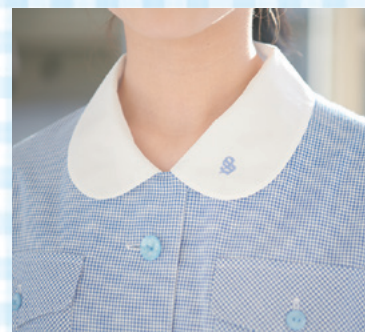
5月～10月は夏服を着用します。夏服のブラウスは、白地に紺のピンストライプです。6月～9月には、丸襟（ギンガムチェック）と角襟（ストライプ）の、2種類のワンピースタイプの盛夏服を着用することができます。

エンブレム

角襟の盛夏服の胸ポケットには、エンブレムが刺繍されています。伸びていく枝のデザインが、夏を感じさせます。



丸襟



角襟

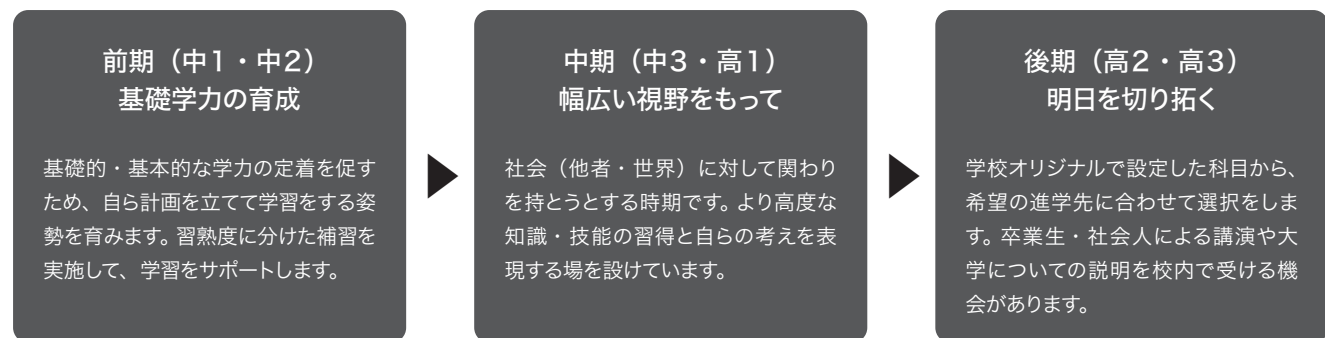


盛夏服、コート、セーター、カーディガン、スラックスは、任意購入です。

6年間の学習の流れ

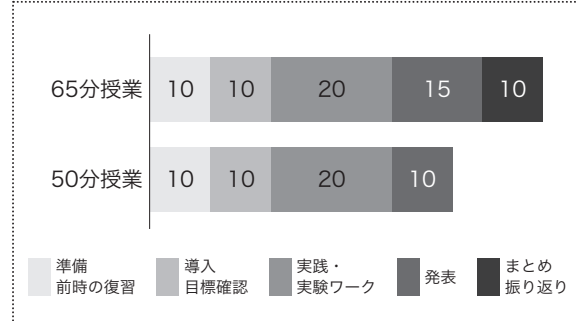
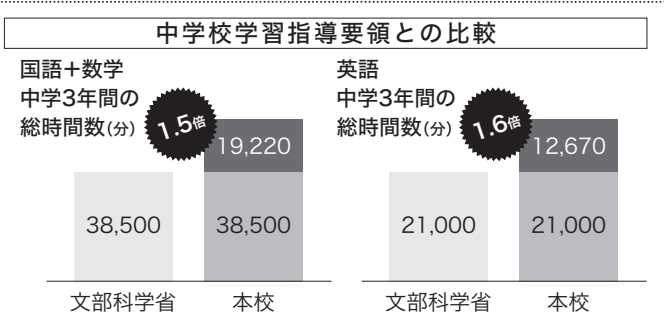


充実したカリキュラムときめ細やかな指導が、P.5～12で紹介されている4つのスペシャルプログラムと重なることによって、主体的に力を伸ばそうとする生徒を育てます。



65分授業のメリット

本校の授業時間は1コマ65分です。これにより、導入からまとめ、振り返りまでのつながりを重視し、主体的・対話的で深く学ぶことができる授業が実現しています。生徒が互いに意見を共有する時間を増やすことで、思考力や理解力の向上を目指すとともに、ICT機器も活用することで協働作業を増やし、プロジェクト型学習を通して考える力を伸ばします。



国語・数学・英語は中3から高校の学習を始めます。国語では読解力だけでなく「書く力・話す力」を強化します。数学ではじっくりと粘り強く考える時間をつくり、最後までやり通す力と論理的思考力を育成します。英語は中学卒業時に英検準2級レベル、高校では大学受験に対応する英検2級以上のレベルにチャレンジできる力を養います。会話やプレゼンテーションなどの機会を多く持ち、英語による発信力を鍛えます。

授業時間が65分あることで、1コマの授業で「導入（目標の確認）・実践・振り返り」までの一連の流れを完結させることができます。一日基本5時限、5種類の授業なので、予習・復習・宿題に取り組みやすくなっているほか、登下校時の荷物が少なくなるメリットもあります。

土曜日の活用

土曜日は中学生・高校生が隔週で登校し、ライフナビゲーションプログラム（総合的な学習・探究の時間）に取り組みます。8時30分始業、11時30分終業の約3時間を有効に活用し、福祉、多文化共生、進路・キャリア等についてじっくりと考えます。



中学生の学び

中学生では、「共に生きる」をテーマに、多文化理解や様々な障がい、差別、偏見について、当事者の方のお話や体験を通して考えます。また、My Story Project (P.10参照)に向けて探究の方法を学ぶワークショップなどを実施しています。



高校生の学び

高校生では、自分の生き方・ライフテーマについて考える活動を多く取り入れています。卒業生による大学受験アドバイスの他、外部の方による講演や、社会人の方からキャリア選択について伺うワークショップなどを実施しています。

カリキュラム

本校では、1日5時限（1コマ65分間）の授業が行われています。A週とB週があり、異なる時間割で進行していきます。

中学1年生の時間割

■ は習熟度別・少人数授業

A週

	月	火	水	木	金	土
1 8:55-10:00	理科	古典	数学	数学	音楽	※隔週登校 総合的な 学習・探究 の時間 8:30～11:30
2 10:10-11:15	英語	数学	英語	英語	表現	
3 11:25-12:30	現代文	地理	理科	地理	理科	
4 13:15-14:20	地理	倫理	家庭科	現代文	英語	
5 14:30-15:35	美術	体育	家庭科	体育	数学	

B週

	月	火	水	木	金
理科	古典	数学	数学	音楽	
英語	数学	英語	英語	表現	
現代文	倫理	理科	英語 ※ネイティブ	理科	
地理	地理	技術	現代文	英語	
美術	体育	地理	体育	数学	

中学1年生では、英語は2週間で9コマ（×65分＝9時間45分）、数学は2週間で8コマ（×65分＝8時間40分）の授業時間が設定されています。

理科・地理は複数の教員が担当し、それぞれ別の分野の授業をします。また、中学1年生より古典と表現（小論文などの文章表現）の授業が行われています。

中学のカリキュラム

※数字は週のコマ数

	宗教倫理	英語	国語	数学	社会	理科	音楽	美術	保健体育	技術家庭	総合
中1	1	4.5	4	4	3	3	1	1	2.2	1.5	1.1
中2	1	4.5	4	4	3	3	1	1	2.2	1.5	1.5
中3	1	5	4	4	3	3	1	1	2.2	1	1.5

高校のカリキュラム

※数字は単位数

	外国語	国語	数学	地歴・公民・宗教	理科	芸術	保健体育	家庭・情報	総合											
高1	英語 コミュニケーションⅠ	3	現代の国語	2	数学Ⅰ	3	地理総合	2	化学基礎	2	音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	2	体育	3	情報Ⅰ	2	1			
	論理・表現Ⅰ	2	言語文化	3	数学A	2	歴史総合	2	生物基礎	2								保健	1	
							宗教倫理	1	物理基礎	2										
高2	英語 コミュニケーションⅡ	4	論理国語	2	【理系】 数学Ⅱ 数学B	4	宗教倫理	1	【文系】 化学 生物	4	【芸術コース】 音楽特別講義Ⅰ 美術造形実習Ⅰ	4	体育	2	家庭基礎	2	1			
	論理・表現Ⅱ	2	古典探究	2	公共	2	【理系】 化学 生物 物理	4	4	4								4	保健	1
	【文系】 AE 英語特別講義Ⅰ 実用英語Ⅰ 英文法演習 スペイン語	2	【文系】 文学国語	4	【文系】 数学Ⅱ 数学B 数学基礎講義	4	【文系】 地理探究 日本史探究 世界史探究	4	4	4										
高3	英語 コミュニケーションⅢ	4	論理国語	2	【理系】 数学Ⅲ 数学特別講義Ⅲ	4	宗教倫理	1	【理系】 物理特別講義 物理研究	4	【芸術コース】 音楽特別講義Ⅱ 美術造形実習Ⅱ	4	体育	2	-	-	1			
	論理・表現Ⅲ	2	古典探究	2	公共	2	【文系】 地理研究 日本史研究 世界史探究	4	4	4								テッサン演習	-	
	実用英語Ⅱ 英語特別講義Ⅱ	4	【文系】 国語特別講義 小論文	4	【文系】 数学C 数学特別講義Ⅰ 数学特別講義Ⅱ	2	【文系】 地理研究 日本史研究 世界史探究 政治・経済	2	【理系】 物理特別講義 物理研究	4										【文系】 理科基礎演習

本校では、高校2年次より文系（芸術コース含む）と理系に分かれます。高校2・3年生では、生徒の進路に合わせて様々な選択科目が用意されています。昨今の多様化する大学入試に備え、小論文やテッサン演習などの授業は文系・理系に関わらず誰でも履修することが可能です。

Introduction of Department

倫理科 Ethics



やさしさだけではない、
生き抜くための強さを学びます

多くのキリスト教の学校では、「宗教」や「聖書」といった教科名をあてていますが、本校では創立以来「倫理」という教科名で授業を行っています。そこには、キリスト教を学び深めるだけでなく、世界の様々な宗教、思想、哲学に触れ、生徒一人ひとりの視野を広げてほしいという思いがあります。また同時に、変化する社会の中で「どのように生きるか」を考える授業であることから、「倫理」という教科名を冠しています。本校の倫理の授業では、私たち一人ひとりがかけがえのない大切な存在であることに気づき、互いに大切にしよう、心の成長と良心の成熟を目指します。キリスト教

を中心に諸宗教、諸思想を学ぶことを通して、真理を探究し、人生の道しるべを見いだすとともに、多様性に開かれた広い視野と、多角的な視点をもとに論理的に思考する力を養います。さらに学んだこと、自ら考えたことを他者と分かち合い、伝える力を伸ばしていきます。倫理科では、生徒たちが四つの心、「祈る心」、「自己を見つめる心」、「他者を大切にすること」、「世界の人々とながらぬ心」を育みながら、愛と正義に基づく平和な社会の実現に貢献できる女性として巣立っていくよう願っています。



「自分、他者、世界」をテーマに ICT 機器を活用した参加型授業

倫理の時間では、全ての学年で「自分・他者・世界」をテーマにしています。また友人との関係を深めるためグループワークも多く行います。その際にはChromebookも活用します。中3では、グループで「理想の学校」の設計図を作成します。グループによっては自分たちで模型を設計したり、設計図のサイトを活用し、本格的な設計図を作成します。また世界に目を向けるため、貧困解決に取り組んでいる人物や団体を調べて発表しています。高1では、日本在住のイスラム教徒の方に協力を仰ぎ、「イスラム教の友人に日本を紹介しよう」をテーマに活動しています。他にも高2ではピカソの「ゲルニカ」を分析し、高3では「いのちのCM」作成を行います。これらの授業を通して、生徒は自己を見つめ、他者や世界へ関心を持っていきます。

《Focus on!!》

学年	テーマ	内容
中1	キリスト教を身近なものに	聖堂（チャペル）探検、校内聖地巡りを行います。
中2	聖書の世界に触れてみよう	身近にある童話等から始め、聖書の物語の背景にあるメッセージを読み取ります。
中3	理想の学校建築を考えよう	グループで「理想」の学校の設計図を作成します。
高1	イスラム教の友人に日本を紹介しよう	日本の文化を調べて、宗教を越えた関わりを学びます。
高2	「世界を変える方法」を見つけよう SDG sで鎌倉市を持続可能にするプロジェクト作り	グループワークを通して、世界を変えることに取り組む団体や個人を調べます。身近にある社会問題をグループごとに考え、発表を行います。
高3	現代社会の課題を考えよう	グループワーク等を通して、社会の課題について考えます。

中学生の間は、清泉生としての基本的な態度として、祈る姿勢と他者への思いやりが自然に身につくように指導するとともに、他者から大切に育まれてきた自分のいのちの価値を知り、自己を正当に評価する自尊感情・自己肯定感を高めるように、聖書に基づいた真の愛を伝えていきます。

高校では、キリスト教だけでなく諸宗教や思想史を学びながら、さまざまな価値観に触れていきます。また、知識や根拠、客観性をもって自己の考えをまとめ、他者にわかるように表現していく力を養います。

	中1	中2	中3	高1	高2	高3
シラバス	清泉の建学の精神 創立者ラファエラ・マリアの生涯 キリスト教入門・祈り ・聖書 ・キリストにならう生き方 世界と私たち マナー、コミュニケーション 自己探求	諸思想 諸宗教		平和学 環境問題 生命倫理 死生学 ジェンダー論 福祉 多文化共生		
使用教材	[中学生] ■聖書(新共同訳) [日本聖書協会] ■絵本ラファエラ [ラファの会] ■山我 智雄『岩波ジュニア新書キリスト教入門』 [岩波書店] [高校生] ■詳説倫理 [英教出版] ■山我 智雄『岩波ジュニア新書キリスト教入門』 [岩波書店]					

外国語科 Foreign Languages

英語を通して視野を広げ、
コミュニケーションのチャンネルを増やします



英語の授業は毎時間が小さな「異文化体験」です。教科書や副教材で基本的な力をつけながら、学んだ英語を実際に使う機会を大切にしています。また、英語の歌や動画を視聴するなどの、視聴覚教材を活用した活動を積極的に取り入れ、五感を使って英語を学べるようにしています。全学年で行っている習熟度別授業では、発話・発表の機会が多くあります。相手の発表や意見を聴き、英語で自己表現ができる生徒を育てます。中学生は年度末に、授業で発表した優秀なスピーチ、スキットなどを学年全体に発表し、共有する機会を設けています。また、Chromebookを使って、個

人の学習の進度に合わせたオンライン英会話や多読プログラムを実施するなど、生徒が活発に学ぶ場となるように工夫しています。中1から高1は英語4技能を測る検定(GTEC)を毎年受け、継続的に英語力を測るとともに、自身の成長を実感する機会としています。

なお、清泉女学院はスペインにルーツがある学校であることから、高2の選択授業でスペイン語を履修することができます。よって、本校では「英語科」ではなく「外国語科」という名称を冠しています。

習熟度別授業 習熟度に合わせて最大3レベルのクラス編成できめ細やかな授業を展開

中1	中2	中3	高1	高2	高3
SE	SE	Standard	Basic ※	Standard	Standard
AE	AE		Standard		
ARE	ARE	Advanced	Advanced	Advanced	Advanced
		High Advanced	High Advanced ※		

※2科目1科目で設置

中1は入学時からSE(Standard English class)・AE(Advanced English class)・ARE(Advanced Returnees' English class)の3段階に分かれます。中2も同じ3段階に分かれますが、成績などの基準を満たすことでAE・AREへの編入が可能です。中3・高1も習熟度により3つのレベルに分けたクラス編成で授業を行っています。その最上位であるハイアドバンスクラスでは、週の半分の授業をネイティブスピーカーの教員が担当し、日本人教員が担当の授業もオールイングリッシュで進めます。教科書で登場したトピックを元に、エッセイライティング、スピーチ、ディベートなどを

数多く行っています。海外出版の教科書も使い、英語の4技能の全てを、ハイレベルな環境で伸ばすことができます。他の3クラス(アドバンス、スタンダード、ベーシック(高1の1科目のみ))は習熟度に合わせてきめ細かい指導を行っています。高2・3はそれぞれAREやハイアドバンスクラスに所属していた生徒も含めて2つのレベルに分け、大学入試も意識した授業を行います。なお、中3・高1のハイアドバンスクラスを除き、中3以上の習熟度別クラスは学期ごとに再編成されます。

- SE (Standard English class)
標準クラス
- AE (Advanced English class)
入学時に英検3級を取得済みの生徒対象クラス
- ARE (Advanced Returnees' English class)
グローバル入試・帰国生試験B方式で合格した生徒対象のクラス

《Focus on!!》

テーマ	内容
デジタル教科書・電子黒板を活用した授業	中学・高校の全学年において、デジタル教科書を活用した授業を行っています。スクリーンに投影して映像を見せたり、音声の速度を変えて再生したり、フラッシュカードをランダムで表示したりと使い方は様々です。
“生きた”教材	教材のテーマをさらに発展させるために、洋楽、新聞、動画などを使用します。英語学習用に作られたものではなく、英語話者が日常的に楽しんだり利用したりするものを積極的に授業に取り入れています。
English Day / English Camp	English Dayは年度末に実施する学年全体で参加する授業で、代表者がスピーチ、スキットなどを学年全体に発表し、共有します。English Campは長期休暇中に行われるネイティブスピーカーの教員による活動型英語集中講座です。
オンライン英会話	主に中3～高2を対象に、月に1回程度実施しています。生徒一人ひとりが英語話者と一対一で25分間会話を続けます。これまで学んできた英語表現が伝わるかどうか確認する場となっています。
多読プログラム	中3～高1はオンライン英語多読プログラムを利用し、冊数の制限なしで英語の本を読めるようにしています。教科書の文章を精読するのは異なり、たくさんの文章に目を通すことで語彙力アップなどを図ります。

	中1	中2	中3	高1	高2	高3	
シラバス	平叙文、疑問文、否定文、命令文 動名詞 不定詞 (名詞的・形容詞的用法)	過去形、過去進行形 未来表現 現在完了形、現在完了進行形 不定詞(副詞的用法) 原形不定詞 助動詞 There is/areの構文 接続詞	比較表現 受動態 五文型 関係代名詞(主格)	関係代名詞(目的格) 分詞 間接疑問文 疑問詞+不定詞 仮定法過去 感嘆文 オンライン英会話	不定詞 動名詞 分詞 関係詞 接続詞 助動詞 仮定法 否定 態 比較 完了形 名詞 冠詞 代名詞 形容詞 副詞 疑問詞と疑問文など一連の高校英文法 オンライン英会話	既習の文法事項を活用した4技能の応用 プレゼンテーション リサーチ ディスカッション/ディベート 教科書構成型学習 選択スペイン語 オンライン英会話(高2)	
使用教材	[中学生] ■Here We Go! 1,2,3 [光村図書] ■Oxford Reading Treeシリーズ [OUP] ■Word Tree 1700英単語・熟語 [文芸堂] ■Heartening English Communication I [朝原書店] ■Macmillan English 3 Language Book [Macmillan Education] [高校生] ■Impact Issues 1 [Pearson] ■Basic Vocabulary in Use [Cambridge] ■Vocabulary in Use Intermediate [Cambridge] ■Vision Quest ELE I Std. [啓林館]	[中学生] ■Here We Go! 1,2,3 [光村図書] ■Oxford Reading Treeシリーズ [OUP] ■Word Tree 1700英単語・熟語 [文芸堂] ■Heartening English Communication I [朝原書店] ■Macmillan English 3 Language Book [Macmillan Education] [高校生] ■Impact Issues 1 [Pearson] ■Basic Vocabulary in Use [Cambridge] ■Vocabulary in Use Intermediate [Cambridge] ■Vision Quest ELE I Std. [啓林館]	[中学生] ■Here We Go! 1,2,3 [光村図書] ■Oxford Reading Treeシリーズ [OUP] ■Word Tree 1700英単語・熟語 [文芸堂] ■Heartening English Communication I [朝原書店] ■Macmillan English 3 Language Book [Macmillan Education] [高校生] ■Impact Issues 1 [Pearson] ■Basic Vocabulary in Use [Cambridge] ■Vocabulary in Use Intermediate [Cambridge] ■Vision Quest ELE I Std. [啓林館]	[中学生] ■Here We Go! 1,2,3 [光村図書] ■Oxford Reading Treeシリーズ [OUP] ■Word Tree 1700英単語・熟語 [文芸堂] ■Heartening English Communication I [朝原書店] ■Macmillan English 3 Language Book [Macmillan Education] [高校生] ■Impact Issues 1 [Pearson] ■Basic Vocabulary in Use [Cambridge] ■Vocabulary in Use Intermediate [Cambridge] ■Vision Quest ELE I Std. [啓林館]	[中学生] ■Here We Go! 1,2,3 [光村図書] ■Oxford Reading Treeシリーズ [OUP] ■Word Tree 1700英単語・熟語 [文芸堂] ■Heartening English Communication I [朝原書店] ■Macmillan English 3 Language Book [Macmillan Education] [高校生] ■Impact Issues 1 [Pearson] ■Basic Vocabulary in Use [Cambridge] ■Vocabulary in Use Intermediate [Cambridge] ■Vision Quest ELE I Std. [啓林館]	[中学生] ■Here We Go! 1,2,3 [光村図書] ■Oxford Reading Treeシリーズ [OUP] ■Word Tree 1700英単語・熟語 [文芸堂] ■Heartening English Communication I [朝原書店] ■Macmillan English 3 Language Book [Macmillan Education] [高校生] ■Impact Issues 1 [Pearson] ■Basic Vocabulary in Use [Cambridge] ■Vocabulary in Use Intermediate [Cambridge] ■Vision Quest ELE I Std. [啓林館]	[中学生] ■Here We Go! 1,2,3 [光村図書] ■Oxford Reading Treeシリーズ [OUP] ■Word Tree 1700英単語・熟語 [文芸堂] ■Heartening English Communication I [朝原書店] ■Macmillan English 3 Language Book [Macmillan Education] [高校生] ■Impact Issues 1 [Pearson] ■Basic Vocabulary in Use [Cambridge] ■Vocabulary in Use Intermediate [Cambridge] ■Vision Quest ELE I Std. [啓林館]

Introduction of Department

国語科

Japanese

多様な国際社会を生きるために、他者を理解し、自分自身を見つめ直す「力」を養います

『方丈記』の冒頭に「ゆく河の流れは絶えずして、またもとの水にあらず」とあります。すなわち、私たちが生きる社会は絶えず変化をしています。しかし、どんな時代においても、どんな国においても、他の人とのコミュニケーションは不可欠です。人と人とのコミュニケーションは「聞く・話す・読む・書く」のすべてが言葉を通して行われています。そして、私たちの言葉には、それをうけてきた我々の先人たちの喜び、悲しみ、痛みなどの情感や感動が集積されています。その先人たちが築き上げてきた伝統的な文化を理解・継承し、新しい文化を創造・発展させるためにも、国語の力は重要です。国語は、様々な学問の基盤であり、自然科学の分野においても、その重要性は全く変わるものではありません。本校の国語の授業は、様々な学びを通し、国語の力を伸ばしていきます。例えば中1から古典文法を履修し、一人て古典を読む力を養います。また昨今求められる物事や情報を多角度から検討し、論理的・客観的に理解する力、そして自分の考えを表現する力を育成します。

	中1	中2	中3	高1	高2	高3	
シラバス	口語文法基礎 語句調べ 古典文法入門 小説・説明文精読 百人一首 書写 国語表現入門	口語文法応用語句調べ 古典文法基礎 随筆・評論精読 小説精読 読み書き 短歌の創作 書写 国語表現応用	論理的文章の読解 慣用語・四字熟語 随筆・評論精読 古典文法応用 俳句の創作 書写	論理的思考力の養成 現代用語・評論用語の習得 漢文句法入門 漢文句法応用 小説の創作	現代文 ・最先端評論の読解 ・近代以降の文学作品の読解 ・文学とその時代背景の把握 古典 ・古典文学読解 ・漢文読解 ・古典芸術への理解	小論文(文系・理系) 入試過去問演習	
使用教材	[中学生] ■伝え合う言葉 中学国語1・2・3【教育出版】 ■解新古典文法【朝原書店】 ■みるみる覚える古文単語300【いづな書店】 ■TOP2500【いづな書店】 [高校生] ■現代の国語【筑摩書房】 ■読解を深める現代文単語 評論、小説【朝原書店】 ■言語文化【数研出版】 ■論理国語【筑摩書房】 ■文学国語【明治書院】 ■古典探究 古文編【朝原書店】 ■古典探究 漢文編【三省堂】 ■みるみる覚える古文単語300【いづな書店】 ■TOP2500【いづな書店】						

数学科

Mathematics

「正確に処理する力・捉える力」を培い、「課題を解決する力・未来を設計する力」を育てます

中学の数学では、数の世界の広がりや理解し、数の概念を育てていきます。数学の土台である正確な計算力と、関数や図形などの基礎的な知識や考察する力をつけるため、こまめに計算・確認テストを行い、長期休み後もテストを行っています。また、学び合いの中で、自分の考え方を伝える力と人の考え方を理解する力を育てます。中1の2学期から習熟度別授業を行い、さらに中2から2クラス3分割でクラスごとに意欲的に学習に取り組めるようにし、論理的思考力を育てます。高2からは進路に合わせたクラス編成となります。日々の学びを通して培われる「あきらめずに最後までやり遂げる力」は「問題を乗り越える楽しさ・喜び」につながります。そして、「課題を解決する力」は「自ら道を切り拓き、未来を設計する力」につながります。数学を学ぶことによって得たそれらの力を積極的に取り入れ、「将来の主體的な生き方」につなげていくことを目指します。

	中1	中2	中3	高1	高2	高3	
シラバス	中1分野 正の数と負の数 文字と式 1次方程式 不等式 比例と反比例 平面図形 空間図形 データの活用	中2分野 1次関数 三角形と四角形 確率 式の計算 平方根 2次方程式 関数 y=a ² 相似 標本調査	中3分野 円 三平方の定理	数学I分野 数と式 集合と命題 2次関数	数学II分野 図形と計量 データの分析 関数と方程式 三角関数	数学III分野 図形と方程式 指数関数と対数関数 微分法と積分法 極限	数学III分野 数と式 関数 微分法 積分法 極限
使用教材	[中学生] ■これからの数学1・2・3 ■STEP演習 完成ノート1・2・3 [高校生] ■数学1・A・II・B・III・C ■4STEP数学1・A・II・B・III・C ※使用教材はすべて数研出版						

《Focus on!!》

◆多様な創作活動～俳句・短歌・小説～

国語の授業では様々な創作活動を行います。俳句・短歌・小説の創作を通じて、「枠組みにとらわれない自由な発想＝クリエイティブシンキング」を養います。また様々な文芸コンクールに参加し、2023年には全国高校文芸コンクールで優良賞を受賞するなど、例年多くの作品が入賞しています。

◆ロジカルシンキング×クリティカルシンキング

多様化する大学入試の中で、思考力・判断力・表現力がより重視され、社会でも自らの頭で考え、結論を導き出し、それを伝えていく力が必要になっています。本校では、情報や分析結果をもとに検証し、結論を導き出す「ロジカルシンキング(論理的思考)」と「クリティカルシンキング(批判的思考)」を磨くことを目標に授業しています。

◆きめ細やかな「古典教育」

公立学校では高校から履修する古典文法を本校では中1から学んでいきます。現代語訳に頼らず、自分の力で古典作品を味わうことを目標にしています。また、らせん型カリキュラムを導入し、古典文法などのつまずきやすいポイントを何度も確認しながら定着を図ります。

社会科

Social Studies

情報を正しく分析し、世界に視野を広げ、民主的・平和的社会の実現に貢献できる人を目指します

本校の社会科が育てる生徒像は、日本や世界に対する見識と他者受容・異文化理解の心を持ち、健全な批判力を身につけ、一人の主権者としていかに社会と関わり貢献するかを考える人物です。そのために、中学では基礎知識の徹底に加え、図表から正確に情報を読み取る力、多角的な視点で物事を捉える力、考察したことを正確に表現する力を身につけます。高校では社会で起きていることへの正しい知識と教養を持ち、グローバル社会に関わる様々な人のアイデンティティを尊重できるようになることを目指します。具体的に、社会科では6年間を通して「本物に触れる」「正しく理解し、考える」「発信する」機会を多く設けています。例えば、中1からChromebookを活用し、グラフや図を自らの手で作成することで読図力を養ったり、スライドを利用した発表活動がさかんに行われたりしています。また、玉縄城跡という本校の立地を生かしたフィールドワークや、現役の国会議員から直接話を聞く機会もあります。授業はグループワークも多く、コミュニケーション力や判断力、リーダーシップなど、社会科の枠を超えた幅広い能力を伸ばします。

	中1	中2	中3	高1	高2	高3
シラバス	地理 ・世界地理 ・日本地理 ・世界遺産に関する学習	歴史 ・日本史 ・世界史	公民 ・現代史 ・公民分野 ・民主政治のしくみ ・経済のしくみ ・国際社会のしくみと課題	歴史総合 地理総合	公共 世界史探究 日本史探究 地理探究	政治経済 世界史研究 日本史研究 地理研究
使用教材	[中学生] ■中学生の地理【帝国書院】 ■中学歴史 日本と世界【山川出版社】 ■新しい社会公民【東京書籍】 ■新しい社会地図【東京書籍】 ■世界遺産100【世界遺産アカデミー】 ■明解世界史図説エスカリエ【山川出版社】 ■つながる歴史【浜島書店】 ■最新図説 現社【浜島書店】 [高校生] ■地理総合【二宮書店】 ■地理探究【二宮書店】 ■新詳高等学校地理【帝国書院】 ■明解歴史総合【帝国書院】 ■詳説世界史探究【山川出版社】 ■詳説日本史探究【山川出版社】 ■新公共【第一学習社】 ■歴史総合図説シンフォニア【帝国書院】 ■新政治・経済【清水書院】 ■新編地理資料【とうほう】 ■最新世界史図説タペストリー【帝国書院】 ■新詳日本史【浜島書店】 ■詳録新日本史料集成【第一学習社】 ■最新公共資料集【第一学習社】					

理科

Science

本物を見ることで、科学的に探究する力を養い、「自然」と「命」を尊重する心を育てます

本校の理科は、本物を見たり触れたりして確かめながら学ぶことを大切に、特に中学生では、実験や観察を多く取り入れた授業を展開しています。実験・観察後には、検証・考察・まとめを行い、レポートを作成することで、科学的思考力・表現力を身につけることを目標にしています。例えば中1では、本校の豊かな自然環境を活かし、校内に生育しているサクラ、タンポポ、シダ、コケなどの実物の観察を通じて、生物を見る目を養います。また、校内のタンポポの種類とその数、生育環境との関係を調査し観察をすることで、科学的な探究の方法を学びます。その他の中学生の実験でも、高校で学ぶ内容を取り入れながら考察していくことで、物事の本質を科学的な視点でとらえる力を養っています。高校ではより専門的に学習を進めていきます。高1では全員が物理基礎、化学基礎、生物基礎を学び、高2からはそれぞれの進路に合わせた科目を選択していきます。

《Focus on!!》

◆鶏頭の解剖(中1)

中1では、ヒトのからだのつくりや動物の分類について学びます。市販されている鶏頭の水煮を解剖して脳や視神経のつくりを観察し、ヒトと比較することで、脊椎動物の生き方や進化への理解を深めます。小さなからだに隠された繊細なつくりに驚き、感動するとともに、日々の食事の中で頂いている命に思いを寄せます。

◆環境配慮を意識した化学の実験

金属のイオン化傾向やダニエル電池の製作などの化学実験では、マイクロスケール実験を取り入れています。多くの試薬を必要とせず、身近な「学校の実験」で実践される省資源への工夫から、SDGsに向き合う態度を学びます。また、従来よりも少人数で実験を行うこともでき、一人ひとりが化学変化を間近で感じられます。

◆英語で実験レポートのポスター作成(高1)

化学基礎では、24項目の実験の中からテーマを1つ選び、全員が英語でポスターを作成します。これは、近年みられる共通テストの英語において、ポスターセッションやスライド発表などを設定とする出題を意識したものです。教科横断的な課題を通して、文系・理系問わず化学の基本的な内容を英語で理解・表現することを目指しています。

	中1	中2	中3	高1	高2	高3
シラバス	身近な物理現象 身の回りの物質 いるいるな生物とその共通点 生物の体のつくりと働き 大粒の成り立ちと変化 野外学習(校内)	電流とその利用 化学変化と原子・分子 火山と地震 気象とその変化 地球と宇宙 野外学習(福根)	運動とエネルギー 化学変化とイオン 科学技術と人間 生物の連続性 自然と人間 野外学習(三浦半島) 生物と遺伝子(生物基礎)	物理基礎 ・物体の運動とエネルギー ・さまざまな物理現象とエネルギーの利用 化学基礎 ・化学と人間の生活 ・物質の構成/物質の変化 生物基礎 ・生物の体内環境の維持 ・生物の多様性と生態系 野外活動(真鶴・箱根)	理系 化学 文系 物理/生物(選択) 化学/生物(選択可)	物理特別講義(理系) 物理研究(理系) 化学特別講義(理系・文系) 生物特別講義(理系・文系)
使用教材	[中学生] ■未来へひろがるサイエンス1・2・3【啓林館】 ■物理基礎【数研出版】 ■生物基礎【啓林館】 ■理科資料【とうほう】 ■最新図説生物【第一学習社】 ■新中学問題集【教育開発出版】 [高校生] ■高等学校新物理基礎【第一学習社】 ■高等学校物理【第一学習社】 ■化学基礎【数研出版】 ■化学【数研出版】 ■生物基礎【啓林館】 ■生物【啓林館】 ■セミナー物理基礎+物理【第一学習社】 ■セミナー化学基礎+化学【第一学習社】 ■セミナー生物基礎+生物【第一学習社】 ■物理重要問題集 物理基礎+物理【数研出版】 ■化学総合資料【数教出版】					

Introduction of Department

音楽科

Music

音の世界を楽しむクリエイティブな時間を過ごします

何よりも、音楽を楽しめるように導きます。同時に「良い音色」を意識しながら、的確な音楽表現のために基礎訓練を行い、質の高い音楽を目指していきます。中1で「ハレルヤコーラス」、中2・3で『三つの聖歌』『信仰』『希望』『愛』に取り組みます。器楽ではアルトリコーダーやミュージックベルなどのほか、和楽器(箏・三味線)を一人ひとり実際に触れ演奏する授業もあります。

	中1	中2	中3	高1	高2	高3
シラバス	校歌 聖歌 歌謡 音楽鑑賞 合唱祭課題曲・自由曲 ハレルヤコーラス	歌唱 器楽 楽典 楽曲鑑賞 合唱祭課題曲・自由曲 ハレルヤコーラス ロッシェニ「信仰」「希望」「愛」	歌唱 器楽 楽典 楽曲鑑賞 合唱祭課題曲・自由曲 ロッシェニ「信仰」「希望」「愛」	グループ演奏 発声訓練・歌唱 楽典 楽曲鑑賞 創作	音楽大学などを志望する生徒に向けたプログラム 楽典 和声 新曲視唱・ソルフェージュ 聴音 講堂での試演会	

美術科

Arts

美術文化を楽しみ、創作する喜びと自己を表現する力を育てます

中1・2では、絵画・彫刻・デザイン等の基本的な表現力を培います。中3・高1ではより高度な技術と表現力を身につけます。例えば中3では、内容・材料などすべてオリジナルの絵本を作ります。高1では、美術史の学びから模写、透視図法の学びから平面構成を制作します。高2・3では芸大・美大を目指す生徒に向け、デッサンを中心に、受験に対応する力や将来の創作活動につながる姿勢も育てています。

	中1	中2	中3	高1	高2	高3
シラバス	鉛筆デッサン 粘土による彫刻 マークのデザイン 木彫 鑑賞	自画像 うちわのデザイン ポスターのデザイン 粘土による彫刻 鑑賞	工芸制作(木工など) 模写 立体制作(紙による) 自画像 鑑賞	平面構成 模写 立体制作(紙による) 自画像 鑑賞	芸術・美術大学などを志望する生徒に向けたプログラム 鉛筆デッサン(石膏像、静物、構成、想定など) 色画構成 彫像彫刻 版画(コラグラフ) 日本画制作 パッケージデザイン 鑑賞	

保健体育科

Physical & Health Education

健康の増進、生涯を通じて運動に親しむ力を育てます

中1・2では体づくり運動、陸上競技、体操、球技、ダンス、武道と幅広く様々な種目を行い、基本技能を学びます。中3・高1では、基本技能の向上を目指し、高2・3では、ゲームを楽しめるよう生徒自ら練習計画をたて、技術のレベルアップを図ります。ダンスではChromebookを使って客観的に演技を見ることで改善したり、サッカーや空手など様々な競技を経験したりと多彩な方法で運動に親しみます。保健の授業では、心身に科学的にアプローチし、生涯健康でいるための知識を学びます。

	中1	中2	中3	高1	高2	高3	
シラバス	調和のとれた生活 心身の発達と心の健康 体づくり 器械体操 バスケットボール バレーボール ダンス 武道(空手) 陸上競技 運動やスポーツの多様性	生活習慣の健康への影響 けがの防止と応急手当 陸上競技 器械体操 バスケットボール サッカー 武道(空手) バスケットボール バレーボール 器械体操 運動やスポーツの効果	感染症予防と健康を守る社会の取り組み 環境の健康への影響 器械体操 バスケットボール バレーボール 陸上競技 ダンス 体づくり サッカー 器械体操 文化としてのスポーツ	現代社会の健康 安全な社会生活 バスケットボール バレーボール テニス(バドミントン) 陸上競技 体づくり スポーツの発祥と発展	生涯を通じた健康 健康をまえる環境づくり バスケットボール バレーボール バドミントン(テニス・卓球) 陸上競技 創作ダンス 体づくり サッカー 運動・スポーツの学び方	バスケットボール バレーボール バドミントン(卓球) テニス サッカー ダンス 豊かなスポーツライフの設計 選択体育	

技術・家庭科

Industrial Arts & Home Economics

自ら創造し、生きる力を育てます

生活は総合的なものなので、家族・経済や消費生活・高齢化・衣食住・環境問題など、多くの視点から考え学び、学問分野の知識を基盤に、生活に生かしていくことを目指します。将来、生活の主体者になったときの生活の仕方を考え、実践することを視野に入れて学びます。家庭分野では、調理実習や着付け、技術分野では木材加工、エネルギー変換、情報に関することなど、実践を通じて学びを深める課題内容となっています。

	中1	中2	中3	高1	高2	高3
シラバス	家庭と家族環境 消費生活と環境 情報の技術 材料の加工 食生活	住生活 衣生活 乳幼児の生活	エネルギー変換 生物育成 情報の技術		人の一生と家族 食生活 衣生活 消費生活 住生活 ホームプロジェクト	

情報科

Information Study

情報社会を生き抜く力を身につけます

現代社会は情報機器に溢れています。ICT機器を使いこなす、課題を見つけ、自らの考えや思いを上手に伝えていくコミュニケーション能力は、これからの生きていく生徒たちにとって必要不可欠な力です。授業では、実習を通してデジタル理論の理解を深めると共に、問題解決力を向上させます。また、他教科との連携をとりやすい教科の特性を活かし、教科横断型授業の展開を目指しています。

	中1	中2	中3	高1	高2	高3
シラバス	<ICT特別講座> 情報モラル 端末操作技術入門 スライド基礎 プログラミング	<ICT特別講座> 情報モラル 表計算基礎 プログラミング	(情報分野は技術・家庭科で実施)	情報社会の問題解決 コミュニケーションと情報デザイン コンピュータとプログラミング 情報通信ネットワークとデータの活用		共通テスト対策問題演習(希望者)

特色ある学び



空手集団演武
体育の武道では、本校出身の元日本代表選手の指導のもと、空手を学びます。型の練習を通して、精神的な成長も見られます。



空手指導者
諸岡宗央
(卒業生)

全日本学生選手権4連覇、2006年アジア競技大会優勝、2008年全日本空手道選手権優勝。



タンポポ分布調査 ～校内自然観察～

本校の理科では、校内の豊かな自然環境を余すところなく活かした授業が行われています。中1の4～5月には、在来植物であるカントウタンポポと外来植物のセイヨウタンポポの特徴を観察した後、学校の敷地内でそれぞれの分布域を調査していきます。仮説を立てるところから始まり、検証、考察までをまとめた科学レポートを、協働的な学びを通して作成していきます。



玉縄城フィールドワーク ～地理×歴史～

本校は、北条氏が築いた玉縄城の跡地に位置しています。中1では、玉縄城と北条氏をめぐる歴史を学び、実際に地形図を広げながら城跡や校外を歩くことで、玉縄城が難攻不落だった理由を地形的な観点から探ります。また、三角点や庚申塔などの実物を見て、地域の歴史・文化への理解を深めたり、地形図の段彩や歩いたルートの書き込みなどを通して、資料を活かす技術を身につけたりします。中2では、希望者対象に当時の地形が遺る跡地や、出土品が展示されているお寺を巡ります。



修学旅行 ～国×社×倫×理～

高2の修学旅行は、長崎、沖縄、台湾の3コースから選択します。修学旅行前には準備講座や事前調査、発表などの時間が設けられています。それぞれのコースで様々な教科の担当者による講座が開かれるほか、清泉女子大学の教授によるハイレベルな講義も用意されています。修学旅行先では、住職の方や戦争の語り部から直接話を聞く機会などを通して、先人たちが守り継いできた歴史や文化に関する見聞を広めます。

課外活動



中高生AI倫理会議
この会議は、人間の本质を理解する倫理の授業を機に、人間とAIとの共存について様々な人と意見交換したいという気持ちを持った生徒が発案し、2016年度から始まりました。年に一度、他校にも呼びかけ2021年度からはZoomで開催しています。会議ではAIに関する倫理憲章を作成し、内閣府に提出して担当の方々より意見をいただいています。



模擬裁判選手権
模擬裁判は、1つの事件を題材にして参加校が検察・弁護のチームを組織し、証人尋問や論告、弁論などを行う大会です。実際に法律実務家の方の協力を得ながら、毎年多くの高校生が挑戦しています。本校はこれまでに、神奈川県予選優勝、関東大会出場の実績があります。



Seisen Peace Project
Seisen Peace Projectは、授業の枠を越えて平和について考え、実際に行動に移したいという生徒の気持ちからスタートしました。これまで「ジェンダー」「ロシアのウクライナ侵襲」「環境問題」など多岐にわたるテーマについて考え、リサイクル活動や募金活動などを行っています。

学習サポート

将来どのような進路を選択しても、その根幹をなすのは基本的な学力です。清泉には、学習を習慣化して基礎学力を確立し、発展的な学びにスムーズに繋がられるよう、様々なサポート体制があります。

◆学習の記録

中1と中2は、毎日の学習を清泉オリジナルの冊子に記録し、週1回、担任に提出します。担任や補佐の教員、保護者から、温かい励ましの言葉やアドバイスをもらいながら、PDCA (Plan Do Check Action) サイクルを身につけます。教員と保護者がともに生徒の成長を見守るツールとなっています。



◆習熟度別授業

英語は中1の4月から3段階に分け、きめ細やかな授業を展開しています。数学は中1の2学期から習熟度別に、さらに中2からは2クラス3分割、また言語文化(古典)は高1で習熟度別に、高2・3では1クラス2分割とし、さらなる知識の定着と発展を図ります。

◆中学生補習

定期試験の成績が基準に達しなかった中学生は、平日の放課後に開講される無料補習の対象となります。授業内容の再確認や演習だけでなく、確認テストの再試や解き直しなどを通し、分からない部分を無くして次の単元に進めるよう支援しています。



◆模試の活用

中学生から年3回、全員に模擬試験を実施し、学年の特徴や課題を客観的に把握するよう努めています。学習課題だけでなく、その具体的な解決策を見つけるために、生活に関するアンケートも実施し、保護者会や面談でフィードバックしています。模擬試験の前には各教科の過去問に取り組む機会を設けます。演習を重ねることで、授業で学んだことがどのように生かされているのか、相手に伝える解答を書くためにはどうしたらよいかを体験的に学ぶことが出来ます。

◆自習スペースの開放

高校生は平日18時30分まで利用できる自習室があります。それ以外にも、図書館の個人学習用機のほか、各教科の研修室が並ぶオープンスペースなど、自習で利用できる場所が校内のいたるところにあります。

毎日、始業前や放課後の時間帯には、課題に取り組む生徒や教員に質問する生徒、面談をしている生徒などが多数見られます。



◆学習メンタープロジェクト

平日の放課後は、中学生18時まで、高校生18時30分まで、そして土曜日や長期休暇にも学習メンターによる学習支援を受けることができます。部活がある日も約1時間、学校に残って学習してから帰ることができます。分からないところは学習メンターにアドバイスをもらうこともできます。また、自分の興味を広げるためのプログラムも多数実施しています。



挑み続ける生徒たち

清泉女学院には、授業や課外活動を通してさらなる高みを目指し挑戦する生徒が多くいます。また、勉学と両立しながら部活や習い事を続け、優秀な成績を収める生徒もいます。ここでは、2023年における生徒たちの挑戦の一部をご紹介します。挑み続ける生徒たちの姿にご注目ください。

感謝を忘れずに、努力し続ける決意



令和5年度 神奈川県私立中学校ソフトテニス大会 女子個人部 優勝

幼い頃からソフトテニスをやっていました。負けてばかりでやめたいと思った時期もありましたが、「負け」は自分を強くしてくれました。努力を重ねるうちに、勝つことへ達成感を覚えるようになりました。続けてきて良かったと思うと同時に、ヘアや周りの人の支えでソフトテニスができるのだということを改めて感じています。今後は、仲間を引っ張っているような存在になりたいです。

大使から議長という立場へ



2023年ジャパンメトロポリタン模擬国連大会 Diplomatic Commendation Award 清泉模擬国連議長

初めて模擬国連議長を務め、当日はこれまでの自分の大使としての経験を振り返りながら、大使の皆さんに伝わりやすいように工夫しました。模擬国連は各国の大使として国益と国際益の両方を考えながら交渉しなければならぬため、リサーチ、コミュニケーション能力を鍛えることができます。また、先生方や先輩方との交流も模擬国連の醍醐味です。これからも、議長、そして大使としても頑張っていきたいです。

自分の英語スキルを成長させたもの

令和5年度 高円宮杯第75回全日本中学校英語弁論大会 決勝予選大会出場

はじめ、私は大会に対して堅苦しいイメージがあり、興味や知識もあまりなく軽い気持ちで参加しました。しかし、原稿作りやスピーチの練習をする中で、自分の英語のスキルが向上していることを実感しました。準決勝に進み、全国の代表者と合宿をする中で新しい友情も生まれたことは、とても貴重で素晴らしい経験となっています。そして、まずは何事にも挑戦してみることが大事であることを学びました。



挑戦の先に見えたもの

2023年全国合唱コンクール全国大会金賞及び文部科学大臣賞(全国一位) NHK全国学校音楽コンクール関東甲信越大会銅賞

指揮者が変わり新体制となったチームをどう支えていくか、それが部長としての課題でした。全国大会への切符を掴みとり、嬉しさに溢れたその1週間前、Nコン関東大会で私達は悔し涙を流し、色々な感情を経験しました。挫折といくつもの困難と一緒に乗り越えた仲間と共に掴み取った全国一位。挑戦の先に見えた景色は、嬉しさや感動だけでなく悔しさも溢れ、私の心に残り続けています。



世界遺産から広がる学びと探究



文部科学省後援 世界遺産検定 マイスター認定

中1で出会った世界遺産は、私の世界を大きく広げてくれました。「人類共通の遺産」である世界遺産をどのように残していくべきか探究し、多くの人に世界遺産を守る意義を伝える方法を考える中で、私の興味は建築や教育、国際交流へと広がりました。マイスター取得をステップとしてこれからも探究を深めると共に、世界遺産を通して学ぶこと、探求することの価値を発信していきたいです。



小さな気づきは大きな成長の原点

第38回 全国高等学校文芸コンクール 優良賞

幼い頃から本を読むことや書くことが好きでした。勉強が忙しくなる前に何か挑戦したかったので、「これはいいチャンスかもしれない。書くなら最善を尽くそう!」と心に決め、高1の夏休みに初めて執筆活動に没頭しました。言葉遊びの壁に直面しましたが、文章で表現する楽しさに気づき、これ以上ないと思える小説が出来上がりました。今後は文芸だけでなく、多方面に挑戦し続けたいです。

1番最初に学んだ諦めないこと

日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ2023 チームフリー 3位 第46回 全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 チーム4位

幼いときから泳ぐことが好きだった私は、小学生の頃、母に勧められてアーティスティックスイミング(旧シンクロナイズドスイミング)を始めました。アーティスティックスイミングを通して学んだことは、どんな状況でも諦めないことです。これまでの練習や本番で積み重ねてきた多くの経験を活かし、学業も習い事も苦手なことに背を向けず、両立できるよう励みたいと思います。



私たちが考える ChatGPTの未来

第7回 AI倫理会議実行委員会委員長

AI倫理会議は、人間と人工知能との共存に関する意見交換の場です。会議では他校を交えてAIに関する倫理憲章を作成し、内閣府に提出して関係者からの意見を頂いています。第7回は生成AIとの向き合い方をテーマとして掲げ、講師にデジタル大臣の河野太郎先生をお迎えし、議論を進めていきました。今後も、中高生の視点から生成AIについて考える機会を設けていきたいと思います。



For Returnees

帰国生について



帰国生試験について

本校の帰国生試験は、試験科目によってA/Bの二種類に分かれています。出願資格は、1年以上海外に在留している上で、以下のいずれかを満たしていることが条件となります。

- ① 2025年3月、海外の学校で小学校の過程を修了見込み、または修了した女子。
- ② 既に帰国している場合は、3年生の4月1日以降に国内の小学校に編入学し、2025年3月に小学校の課程を修了見込み、または修了している女子。

2025年度 帰国生募集要項

詳細は8月以降のHPをご覧ください

A方式

- 日本語による作文 (45分)
- 算数 45分 100点
- 面接 10分

B方式

- 日本語による作文 (45分)
- 英語 45分 100点 (英語の難易度は英検2級程度)
- 英語による面接 10分
- ◆ B方式の合格者には、ARE (Advanced Returnees' English) クラスが用意されています (次ページ参照)

試験種別	帰国生試験
募集人員	10名程度
試験日	2024年12月8日(日)

2024年度 帰国生試験入試結果

	志願者数	受験者数	合格者数
A方式	10名	10名	9名
B方式	7名	7名	6名

※ 2024年度入試では海外在住者専用のオンライン入試も実施しました。

《帰国生入試受験生の主な在住エリア》(50音順)

【アジア】 インド・インドネシア・シンガポール・タイ・台湾・中国・マレーシア

【ヨーロッパ】 イギリス・ドイツ・ロシア

【北中南米】 アメリカ・ブラジル・メキシコ

【オセアニア】 オーストラリア

Q&A

Q 帰国生に対する入学後のクラス配置・授業体制は一般生(国内生)と異なっていますか？

A 同じです。姉妹校である清泉小学校からの内部進学生、一般入試で入学してくる生徒、帰国生がすべて同じホームルームで勉強しています。お互いが良い刺激となるように考えております。

Q 帰国生に対してキャッチアップとしての補習授業を行っていますか？

A 希望者は土曜日に用意されている日本語の特別補習を受けられます。他に平日の放課後に全ての生徒を対象とした、定期試験対策用の補習があります。また、授業内でも小テスト等、きめ細かい指導を行っています。

Q 帰国生に望む「海外で学んできてほしいこと」は何ですか？

A 情報の多い時代ですが、実際に体験できるということは大変貴重です。海外での生活体験を通して養われる広い視野、積極性、異文化理解などは誰でも持つことができるわけではありません。

Q 入学した帰国生を指導する上で気をつけていることは何ですか？

A 帰国したばかりで日本の生活に慣れない方にも、安心して学校生活を過ごせるように心を配っています。一人ひとりの海外での体験を尊重し、クラス・学年でお互いが認めあえるように担任、担任補佐、学年担当者が気をつけて見守るようにしています。またいつでも相談しやすい環境を整えています。

Q 帰国生としての経験が生かせる場はありますか？

A 発表活動の場が数多く用意されており、海外の経験や、経験を活かしたプレゼンテーションをする機会があります。また、模擬国連で活躍する生徒もいます。

Q 帰国生試験で入学した生徒の進学先を教えてください。

A 進学先はさまざまです。文理選択も人によって異なります。国公立大医学部に進学した人もいれば、得意な英語を活かして早・慶・上智など難関大学に進学した人も多くいます。

ARE (Advanced Returnees' English) とは？

AREとは、帰国生試験(B方式)およびグローバル入試合格者の中1・2を対象とした英語の少人数特別授業のことで、週4.5時間の英語の時間すべてで実施されます。担当するのは、文法などを確認するための時間を除き、すべてネイティブスピーカーの教員です。ネイティブスピーカーの教員担当の授業では、読み書きのほか、ディスカッションやプレゼンテーションなども積極的に取り入れています。これらはすべて、

海外で身につけた英語力を伸ばすハイレベルな授業です。中3からはハイアドバンストクラスに属し、習熟度の高い一般生とともに学びます。ハイアドバンストクラスでは、他のクラスよりもネイティブスピーカーの担当時間が多く、日本人教員担当時間も含めて全てオールイングリッシュで授業を進めます。

Seisen's ARE program is an advanced English class designed to take your English skills to an even higher level. Like many classes, we will practice reading, writing, speaking, and listening. But one thing that makes this class different is we don't just study English. We use English to learn interesting things about the world around us. In that way, you will continue to improve your English ability and expand your vocabulary like students in an English speaking country.

You will read novels and do research projects, write essays and do presentations. Creative projects, like making an original skit with your classmates, is another fun part of ARE classes. ARE students also enjoy playing games and doing problem solving activities and team building activities in English. One of the best things about ARE classes is the students you will meet and the good friends you will make. Many students in these classes have lived in different countries around the world. This is great because by exchanging ideas and cultural experiences with your classmates, you will learn even more about the world and gain a better understanding of other cultures.

If you want to continue learning English in a fun and challenging environment, please join us at Seisen in the ARE class!



外国語科

Benjamin Johnson

ARE 受講生の声

1. What have you learned, or what kind of activities have you done so far in ARE classes?
(AREの授業ではこれまで何を学んできましたか。また、どんな活動をしてきましたか。)

■ We read books and did a play about the book. We sometimes did some presentation with slides too. We also played some games. Most of the lessons are group work so I can get to know my classmates even more.
(本を読んだり、その本について劇をしたりしました。時々スライドを使って発表もしました。ゲームもしました。授業のほとんどはグループワークなので、クラスメートについてより知ることができます。)

■ We have learned constellation in English. We've read books and talked about them with our classmates too.
(英語で星座を学びました。本を読んでクラスメートと話したりもしました。)

■ In class we read books, have discussions (about the books), play games and study grammar.
(授業では本を読んだり、(読んだ本について)話し合ったり、ゲームをしたり文法を学んだりします。)

■ I learned a lot of grammar that I wasn't very sure of and because of this class I'm able to keep a high grade on English.
(はっきりとは分かっていなかった文法をたくさん学びました。この授業のおかげで、英語では良い成績を保つことができています。)

2. What do you think about the ARE classes and your classmates?
(AREの授業と、AREのクラスメートについて、どう思いますか。)

■ I'm most looking forward to ARE class at school. This is because all my classmates are interesting so I can improve my knowledge while having fun.
(AREの授業を学校で一番楽しみにしています。クラスメートがみんな面白く、楽しみながら知識を深められるからです。)

■ Our teacher speaks only in English and it's really good because we don't lose our English. Also, my classmates come from other countries so it's really fun to talk about such countries and cultures.
(先生は英語でしか話さず、英語を忘れずにいられるのでとても良いです。また、クラスメートは別の国から来ているので、そのような国や文化について話すのもとても楽しいです。)

■ Discussing the book with my classmates makes reading more fun and interesting. Also, discussing the book and sharing opinions helps us to understand the book better.
(クラスメートと本について話すことで、読むことがより楽しく、面白くなります。また、本について話して意見を共有することで、本をより理解できるようになります。)

■ I think my classmates are very friendly and funny. ARE class is VERY fun. The teachers are very kind and friendly too. We learn lots of words we don't know. We talk in English of course and that's why I'm able to keep my English speaking level up.
(クラスメートはとてもフレンドリーで面白いと思います。AREの授業はとても楽しいです。先生方もとても優しく、フレンドリーです。知らない単語もたくさん学びます。授業中はもちろん英語で話し、そのおかげで英会話の力を伸ばし続けられています。)

A方式



高校1年 Uさん

私は、幼稚園の年中から小学三年生までヨーロッパのスロバキアという国に住んでいました。スロバキアではインターナショナルスクールへ通い、英語を使って生活していました。その学校で私が一番好きだった行事が、「インターナショナルデー」という、いわば国際交流のようなイベントです。他国の文化について理解を深めつつ、自国の文化も知ってもらいインターナショナルスクールならではの行事でした。清泉にいて、「異文化体験」や「国際交流」などの言葉を生徒主導のプロジェクトや生徒会長選挙の公約など、様々なところで耳にします。私は、なぜインターナショナルスクールでない清泉に在りながら、世界にまで視野を広げることができるのか不思議に思っていました。しかし、清泉で生活を送っていく中で、国際情勢や異文化に触れる機会の多さを知り、仲間たちがそのような視点を持つようになるのも納得がいくきました。

B方式



中学2年 Nさん

I lived in Taiwan for one year. At the time, I was very shy and didn't have any friends until two months had passed; however, one girl invited me to play with her and her friends. Thanks to her, I made a lot of friends. From this experience, I realized that by being able to speak the same language, we could be connected across cultures. In ARE class, we play games, read a book each semester, and watch movies. Mr. Johnson, our English teacher, picks interesting books for us every time. I am always excited about what we will be reading. For your exams, it'll be better to be able to discuss and write based upon your experiences and opinion in English. Good luck!

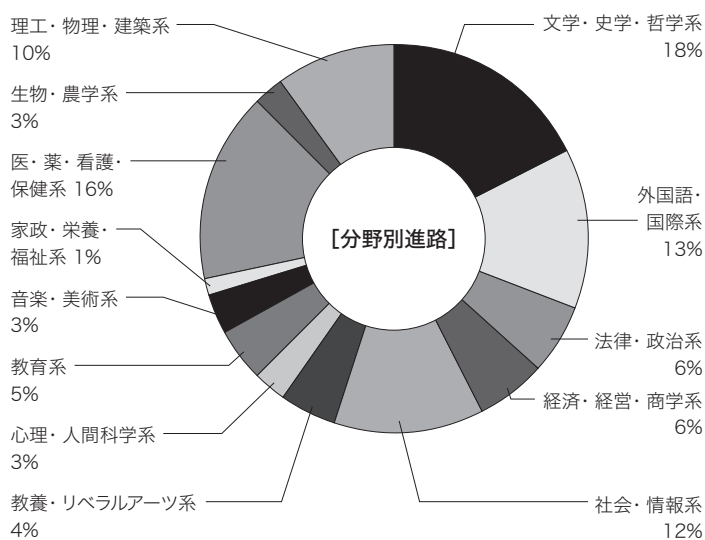
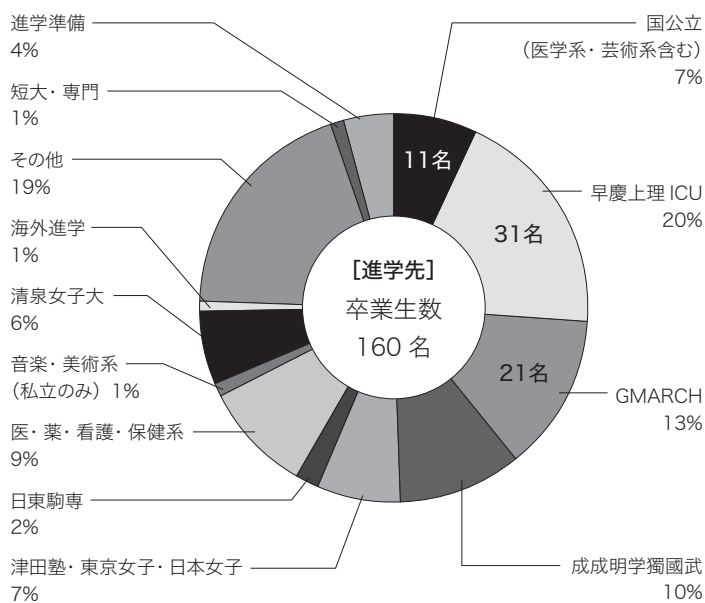
進路・合格実績

本校の在校生は、理系学部、文系学部、芸術系学部や看護・福祉系学部など多くの分野に興味を持っています。国立大学、難関大学、医学部、海外大学等への進学を志す生徒も多くいます。授業時間を確保し、生徒が自ら考えることができる基礎力をつけ、ご紹介したスペシャルプログラムを通して、興味関心のアンテナを広げています。進学を希望する生徒が多い大学の関係者を本校に招いたり、大学入試に向けた説明会を学年毎に定期的実施したりすることで、より高い目標に向かう姿勢を身につけます。

これからの社会に向けて育成すべきは、「何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技術）」、「知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）」、「どのように社会・世界と関わり、より良い人生を送るか（学びに向かう力や人間性等）」ということです。何をどのように学んでいくか、そして学んだことを将来どのように生かしていくかを考えることは今まで以上に重要になっています。そこで社会の中でどのように生きていきたいかを考えるような進路ガイダンスも行っています。

2023年度 卒業生の進路

(2024年3月23日現在)



進路指導・研究部長

橋本 泰久



主要大学への過去3年の合格実績

(2024年3月23日現在・既卒生含む)

国公立 (抜粋)

大学名	2024	2023	2022
東京一橋	2	1	3
東北筑波			1
国際教養	1	1	
お茶の水女子			1
東京農工		1	
東京外国語	1	1	
東京学芸	1		
東京海洋		1	
東京医科歯科			1
秋田		1(医)	
静岡		1	
信州			2
東京芸術			1
東京都立			1
横浜国立	2	1	
横浜国立	2	2	3(医1)

私立・その他 (抜粋)

大学名	2024	2023	2022
慶應義塾	15	9	13
早稲田	16	7	14
上智	34	23	24
東京理科	2		3
国際基督教	1		1
明治	11	17	20
青山学院	6	13	17
立教	23	16	22
中央	6	13	7
法政	11	12	16
学習院	6	12	2
成城	15	9	6
成蹊	1	2	1
明治学院	21	19	23
國學院	8	4	7
津田塾	3	2	
東京女子	11	8	2
日本女子	16	20	5
同志社		2	
近畿		1	
日本	12	5	6
東洋	11	7	15
駒澤	3	2	5
専修	6	5	2
麻布	2	1	4
順天堂	1	2	7
東京都立	9	1	5
東京農業	6	5	9
北里	4	8	6
聖マリアンナ医	2		
東京医科			1
東京慈恵医科			1
東京女子医科	2		2
東京薬科	2		8
東邦	1	2	1
日本医科			1
防衛医科大学校		1	
国立音楽			1
東京音楽		1	2
女子美術	3	1	4
多摩美術		1	3
武蔵野美術		3	3
海外の大学	5	1	
清泉女子 (うち高大接続入試)	32 (24)	31 (24)	28 (17)

様々な推薦入試

昨今の大学入試では、推薦入試(総合型選抜・公募推薦)による入学者の割合が増加傾向にあります。本校でも、様々な推薦入試によって進学を決める生徒が増えていきます。推薦入試で大切なことは、「高校生活で学んだことを将来どのように生かしたいか」が明確であることです。中学・高校と6年間の伸び伸びとした学習環境で、勉強のみならず様々な活動に積極的に参加したり興味を持って行動したりしたことが、この入試制度では生きてきます。

総合型選抜・公募推薦の主な合格実績 (過去3年間)

国公立:

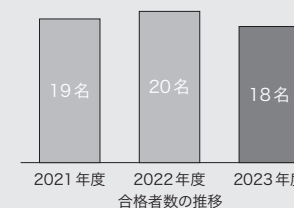
国際教養・筑波・東京(理1)・東京都立・横浜国立・横浜市立(医)

私立:

青山学院・麻布・慶應義塾・国際基督教・昭和(薬)・成城・聖マリアンナ・順天堂・成城・多摩美術・中央・津田塾・東京女子・東京音楽・東京歯科・東京都立・東京農業・東京薬科・法政・明治・明治学院・立教・立命館・立命館アジア太平洋・早稲田

上智大学カトリック高等学校特別入学試験

カトリック校のつながりを活かした入試で、日本カトリック学校連合会に加盟する高等学校在籍の高校3年生が出願できる総合型入試です。志望理由書の提出、学科試験と面接試験、学部によってはレポート等特定課題の提出により、11月頃に合否が決まります。本校は例年高い合格率を誇り、学年の1割以上が進学しています。



■大学

神学部/文学部/総合人間科学部/法学部/経済学部/外国語学部/総合グローバル学部/国際教養学部/理工学部

■大学院

神学研究科/文学研究科/実践教学研究科/総合人間科学研究科/法学研究科/法科大学院経済学研究科/言語科学研究科/グローバル・スタディーズ研究科/理工学研究科/地球環境学研究科/応用データサイエンス学位プログラム

姉妹校 清泉女子大学 Seisen University への推薦

姉妹校高大接続入学試験

一定の出願条件を満たした高3は、この入学試験を使い、優先的に12月中に清泉女子大の合格を確保できます。その上で、他大学を受験でき、その結果次第で清泉女子大の進学を辞退することもできます。

姉妹校推薦

校長の推薦を受けた者が人数制限なく進学することが出来る制度です。(一部の学部では、外国語検定の条件があります。)

清泉女子大学について

本校の姉妹校、清泉女子大学は五反田駅から徒歩10分、品川区の島津山とよばれる緑あふれる丘の上に建っています。「まことの知まことの愛」(VERITAS et CARITAS)を探究のモットーにキリスト教ヒューマンズムに基づいたリベラルアーツの大学です。薩摩藩ゆかりの地であることから、鹿児島県にフォーカスしたプロジェクトに取り組んだり、アジア、アフリカなどの発展途上国でのフィールドワークを実施し、地球市民を育成しています。就職活動支援に定評があり、毎年100%に近い実就職率となっています。

■大学 (文学部)

日本語日本文学科 / 英語英文学科 / スペイン語スペイン文学科 / 文化史学科 / 地球市民学

※2025年度より総合文化学部と地球市民学部の2学部となります。

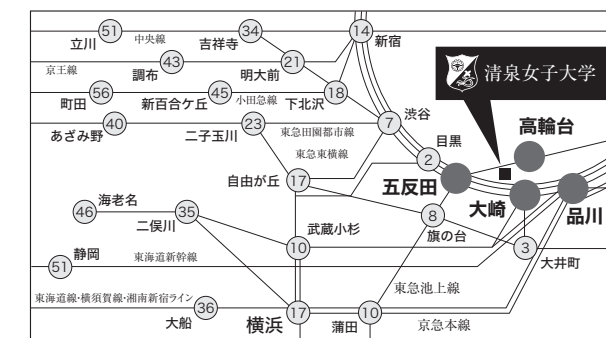
■大学院 (人文科学研究科)

卒業生の主な就職先

セブンイレブン・ジャパン/そごう・西武/三越伊勢丹ホールディングス/ユニクロ/総合警備保障/NTTドコモ/ウェザーニューズ/サイバーエージェント/ゼンリン/ソフトバンク/楽天/損害保険ジャパン/日本生命保険/野村證券/みずほフィナンシャルグループ/三井住友銀行/三菱UFJ銀行/ゆうちょ銀行/星野リゾート/杏林製薬/資生堂/東京エレクトロン/東芝/日立金属/三菱電機/伊藤忠ロジスティクス/全日本空輸/大韓航空/日本航空/東日本旅客鉄道/神奈川県公立中・小学校/清泉小学校/東京都公立中・小学校/JTB/エイチ・アイ・エス/鹿島建設/積水ハウス/竹中工務店/金融庁/警視庁/国税庁・東京国税局/地方公務員/防衛省・陸上自衛隊/航空自衛隊/法務省



本館は鹿鳴館を手掛けたジョサイア・コンドルの設計



about School Life

学校生活について

安全管理

本校では生徒たちが日々安心して学校生活を送れるよう安全対策を行っています。大雨や台風、交通機関の乱れのために休校になったり、始業が遅れたりする場合などには、一斉メールシステム「きずなネット」によって学校から連絡が届きます。構内および校門付近に複数の防犯カメラを設置し、異状がないか確認しています。同時に、校門横の門衛所に守衛を配置し、来校者のチェックを行い、生徒の安全確保に努めています。校舎は免震・耐震工事が完了しています。また、全校生徒3日分の非常食や水を備蓄しているほか、救急医療品、毛布、発電機、簡易トイレも十分に備蓄しており、帰宅困難な場合は校内で安全に過ごすことができます。消防士の指導のもと、避難訓練も定期的を実施し、生徒の防災意識を高めています。そのほか、登下校の時間帯に、震災などで交通機関がストップするような状況になった場合に、神奈川県・東京都内の最寄りの私立校に避難できる緊急避難ネットワークにも加入しています。

お弁当とパンの販売

業者による日替わりのお弁当とパンの販売があり、多くの生徒が利用しています。

10月の献立表 清泉女学院				
月	水	木	金	土
3日	4日	5日	6日	7日
★人気No2★ 塩からあげ弁当	★人気沸騰中★ 豚バラやきにく 弁当	★今年は10月限定★ ねぎ塩豚丼	★月替わり弁当★ デミグラス ハンバーグ弁当	★アンデス高原豚の かつカレー
10日	11日	12日	13日	14日
販売なし	★人気No1★ からあげ弁当	★人気沸騰中★ 豚バラやきにく 弁当	★人気No3★ 牛カルビ ピビンパ丼	★月替わり弁当★ デミグラス ハンバーグ弁当
17日	18日	19日	20日	21日
★人気沸騰中★ 豚バラやきにく 弁当	★アンデス高原豚の かつカレー	販売なし	販売なし	販売なし
24日	25日	26日	27日	28日
★人気No5★ 牛カルビ ピビンパ丼	★人気No1★ からあげ弁当	サーモンタルタル &メンチカツ 弁当	★人気沸騰中★ 豚バラやきにく 弁当	★月替わり弁当★ デミグラス ハンバーグ弁当
31日	1日	2日	3日	4日
★人気No2★ 塩からあげ弁当	★今年は10月限定★ ねぎ塩豚丼	★アンデス高原豚の かつカレー	★月替わり弁当★ デミグラス ハンバーグ弁当	★人気No1★ からあげ弁当

泉会について

本校生徒の保護者の会である「泉会」は、学校と家庭が協力してより良い教育環境を築くこと、また会員相互の親睦を目的として活動しています。主な活動はバザーの開催や会報の発行、学年単位の親睦会の開催などです。通常の活動以外にも有志の手芸サークルなどがあり、学年の枠を超えて親睦を深めています。バザーの収益は福祉団体に寄付されるほか、学校設備の充実のために有益に使われています。各学年2名の役員と8名の常任委員は、アンケートをとり、協力できる保護者の中から募ります。



ラファエラ館

本館のほかに、5階建てのラファエラ館があります。かつてシスター方が生活していた修道院を、美術室・音楽室などの芸術教室や、少人数授業用の教室のある校舎に改修しました。他にも、オラトリオ(小聖堂)、大教室などがあります。4・5階は、泉会の活動場所として、また宗教研究や部活動で校内合宿をする際の宿泊場所としても使われています。本館とは渡り廊下で結ばれており、窓からは箱根から富士山をはさみ丹沢山系までを一望することができます。



図書館

生徒と教員のための「勉強のための図書館」

本校の図書館は、2階が高校生用の蔵書構成で「静かに勉強するスペース」、3階が中学生用の蔵書構成で「グループワーク用スペース」という二層建てになっています。学年を問わずどちらの階も使うことができ、授業で使われることも多くあります。蔵書のコンセプト



は生徒と教員のための「勉強のための図書館」なので、大学図書館にあるような全集や事典も多く揃っています。良書に出会うことは人生を豊かにする、という方針で選書会議を行い、本を選んでいます。また本校の図書館は「読書」や「勉強」に限らない有機的なスペースです。情報発信・受信の場であったり、人と人を結ぶ交流の場であったり、想像力を培うゆとりの場となるよう、専任の司書教諭2名が管理運営にあたっています。

蔵書数：約 65,000 冊 (その他研修室に約 10,000 冊)
 座席数：2階：60席 / 3階：50席
 貸出：一人2冊まで(2週間)
 開館時間：月～土：8:00～下校鈴10分前
 ※長期休暇中は別に定めます。

Questions & Answers

Q & A

授業・学習に関して……………

Q 土曜日・日曜日の活動はどのようになっていますか？

A 土曜日には、中高ともに学校行事、ライフナビゲーションプログラム(総合的な学習・探究の時間)など、教育課程に縛られない独自の教育活動を行います(P.21参照)。また活動をするクラブもあります。日曜日は休校で、公式の試合やコンクールなどを除き、活動しません。

Q 学年・クラス編成はどのようになっていますか？

A 中1は5クラス編成です。中2以降は4クラス編成です。中1・2を前期、中3・高1を中期、高2・3を後期と区分した2学年単位で、学習や生活の計画を立てています。

Q 自習室は中学生も使えますか？

A 自習室は中学生も利用できます(P.29参照)。平日は18時まで、土曜日や長期休暇は16時まで開放しています。その他に、図書館、オープンスペース、部活動で使用していなければ自分の教室で自習することができます。

Q 中学の学習に追いつけなくなった場合の補習はありますか？

A 定期試験ごとに基準に達しない生徒対象の放課後補習があるほか、自習室で学習メンターによる学習支援を受けることができます(P.29参照)。また各教科の研修室があるため、補習に限らず生徒が教員へ気軽に質問できる環境が整っています。

Q 進路別のコースが分かれるのはいつからですか？

A 高2から文系・理系に分かれます。本校ではさまざまなニーズに対応するため少人数制、習熟度別、受験問題演習などの授業を展開しています。さらに、長期休暇には数多くの受験対策講座を開講しています(夏期講座はP.14参照)。

留学に関して……………

Q 在学中に海外留学することは可能ですか？

A 可能です。NZ・オーストラリアへのターム留学(3か月間)のほか、1年間の留学が制度として認められています。多くの場合、高1の夏に出发し高2の6月頃復学します。単位も与えられるのでそのまま進級することができます。

学校生活について……………

Q 校則にはどのようなものがありますか？

A 携帯電話・スマートフォンの持ち込みは、届け出制です。校内での使用は認めていません。カバンやマフラー、傘、髪型などは自由ですが、化粧、整形、染髪、ピアスなどのアクセサリを身につけることは認めていません。アルバイトや芸能活動も認めていません。

Q いじめや不登校などにはどのように対応していますか？

A 担任と生徒の個人面談期間が年に2回設けられており、学年主任・担任はその中で生徒の心配事を把握するよう努めています。また面談機会以外でも、生徒はいつでも教員に面談を申し込むことができます。いじめに関しては、年3回アンケートを実施し、助けを求めやすい環境作りを心がけています。いじめが確認された場合は、校長・教頭・指導部長・学年主任・担任等からなるいじめ対策委員会を発足し、学校として対策を講じます。

Q 特徴的な行事はありますか？

A 県内屈指の音響設備のある講堂では、新入生歓迎会・クリスマス会・送別会・中高分かれて行われる合唱祭・全校であずかるミサが年3回行われます。また、清泉祭や体育祭、高2の修学旅行をはじめとして様々な行事があります。6月末には泉会(保護者会)主催のバザー(P.35参照)もあります。

Q カトリックについて何も知りませんが大丈夫ですか？また、宗教の時間・行事はどのようなものがありますか？

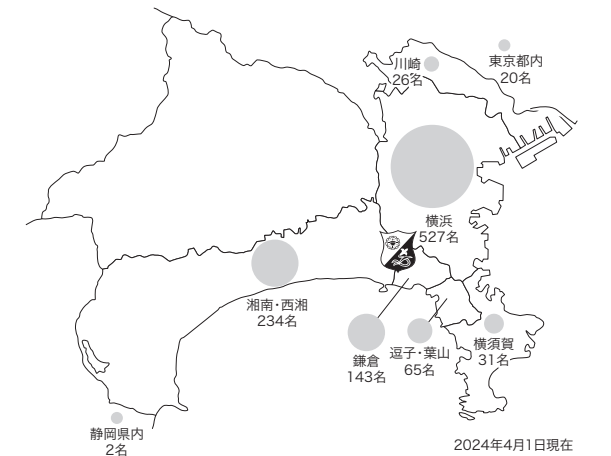
A 清泉でカトリックにはじめて触れる生徒は多くいますので心配ありません。宗教倫理の時間が全学年におかれています。朝礼と終礼時に教室で祈りの時間が数分あります。この時間は心をしずめ自分自身や周囲、世界のことを考えながら心を合わせて祈ります。また全校ミサは年に3回行われます。希望者は週に一度の「宗教研究」に参加することができます。

Q 登下校のバスの利用はどのようになっていますか？

A 大船駅と清泉女学院を結ぶバスは一般の方も利用する路線バスです。朝は約5分間隔、放課後は約10分間隔で定時バスが出ています。生徒には、時間に余裕をもって登校するよう指導しています。

Q 生徒はどこの地域から通学していますか？

A 現在の生徒の通学地域は以下の通りです。



Q クラブ活動は全員参加ですか？

A 強制ではありませんが、クラブ活動への参加率は90%を超えており、積極的に参加する生徒が多いのが特徴です。クラブによって活動する曜日・時間は異なります。土曜に活動するクラブもあります。なお、兼部はできません。

2024年度 入試結果

	1期試験		2期試験		3期試験			ポテンシャル入試		
	四教科試験		二教科試験		四教科試験		三教科試験	グローバル入試 (英語一教科)	アカデミック ポテンシャル入試 (AP入試)	ステム (STEMM) ポテンシャル入試 (SP入試)
試験日	2月1日(木)			2月2日(金)			2月4日(日)			
定員	40名		20名		25名		若干名	10名	10名	
合格者数/受験者数	55/124名		69/148名		97/197名			3/3名	14/55名	10/43名
合格者 最高点・最低点	国語 86点・48点 算数 99点・45点 理科 88点・44点 社会 84点・41点		国語 89点・54点 算数 100点・58点		国語 85点・36点 算数 100点・41点		理科 47点・18点 社会 45点・14点 ※50点満点			
	国語 60.2点 算数 57.9点 理科 53.4点 社会 59.9点		国語 64.0点 算数 61.5点		国語 52.2点 算数 63.3点					
受験者平均点	国語 60.2点 算数 57.9点 理科 53.4点 社会 59.9点		国語 64.0点 算数 61.5点		国語 52.2点 算数 63.3点		理科 27.8点 社会 29.6点 ※50点満点			

2025年度 募集要項

★詳細は8月以降、HPをご覧ください。

帰国生の募集要項は、P.31をご覧ください。

	1期試験		2期試験		3期試験			ポテンシャル入試				
	四教科試験		二教科試験		グローバル入試 (英語一教科)		四教科試験		三教科試験 (英語資格)	二教科試験	ステム (STEMM) ポテンシャル入試 (SP入試)	アカデミック ポテンシャル入試 (AP入試)
試験日	2月1日(土)			2月2日(日)			2月3日(月)		2月4日(火)			
定員	40名		20名		若干名		30名			10名	10名	
試験時間	8:45～12:40		15:00～16:55		15:00～15:50 以降順次面接		14:30～17:40		14:30～16:25		14:30～15:30	11:00～12:00
試験科目	国語 50分・100点 算数 50分・100点 理科 45分・100点 社会 45分・100点		国語 50分・100点 算数 50分・100点		英語 50分・100点 英語による面接10分 ※英検2級程度		国語 50分・100点 算数 50分・100点 理科・社会 あわせて60分・各 50点		国語 50分・100点 算数 50分・100点 英語資格100点換算 ※英検4級以上を点 数化	国語 50分・100点 算数 50分・100点	算数 60分・100点	思考力・表現力・総合 力を測る試験 60分・100点

○グローバル入試・帰国生入試以外は、面接を行っていません。また、小学校の通知表コピーの提出も不要です。小学校での活動などについては「活動報告書」にお書きください。
○グローバル入試の合格者は、入学後、ARE(帰国生対象の英語アドバンスクラス)に参加することができます。
○出願方法や「活動報告書」などの詳細については、8月以降にHPか『2025年度入学試験要項』をご覧ください。

入学時にかかる経費

	中学校	高等学校
入学金	300,000円	300,000円
施設費	120,000円	120,000円
制服*および その他学用品	およそ110,000円	なし

○すべての入試(帰国生入試を除く)において、特に優秀と認められる合格者の中から特待生を選抜します。詳細は『2025年度入学試験要項』をご覧ください。
*任意購入: 盛夏服(2タイプ) 各およそ20,000円、コートおよそ23,000円、セーター・カーディガン各およそ7,500円、スラックスおよそ17,000円。

年間経費

	中学校	高等学校
授業料	36,000円/月	36,000円/月
維持費	9,000円/月	9,000円/月
積立金(副教材費等)	10,000円/月	10,000円/月
生徒会費	1,000円/月	1,000円/月
泉会費	1,000円/月	1,000円/月

*成績優秀者は、高校入学時に入学金相当額の奨学金が給付されます(3名)。
*その他、各種奨学金給付制度があります。

沿革



総長と来日した4人のシスター ①

1934(昭和9)年 聖心侍女修道会の4名のシスター来日①
ローマに本部を置くスペイン系の聖心侍女修道会から、シスター・エルネスティナ・ラマリョと3名の修道女が来日しました。翌年、シスター・オリバ・レイナにより学校名が「清泉」(Fuente de pureza)と命名されました。

1947(昭和22)年 清泉女学院小学校と中学校の創立②
横須賀市福岡町3番地(旧海軍工機学校跡)に清泉女学院小学校と中学校が創立され初代校長にシスター・エルネスティナ・ラマリョが就任しました。

1948(昭和23)年 清泉女学院校高等学校の創立
上記同地に清泉女学院高等学校が創立されました。また、小・中・高の保護者の会である「泉会」が発足しました。

1952(昭和27)年 聖心侍女修道会創立者ラファエラ・マリア列福
この日を記念して5月18日に清泉女学院中学高等学校の創立記念日としました。
※「列福」とは、カトリックにおいて、徳ある行為によりその生涯が聖性なものであったことが認められた者の死後に「福者」という地位が与えられることをいいます。

1963(昭和38)年 鎌倉市城廻に新校舎完成、現在の地に移転③
清泉女学院中学校と分校の鎌倉清泉女学院中学校が合併して、鎌倉市城廻200番地の新校舎に移転しました。

1977(昭和52)年 ラファエラ・マリア列聖
バチカンのサン・ピエトロ大聖堂に於いて、聖心侍女修道会創立者で福者のラファエラ・マリアの列聖式が行われました。
※「列聖」とは、カトリックにおいて、敬虔な生涯を送り信仰生活の模範者と認められた福者に「聖人」という地位が与えられることをいいます。

1998(平成10)年 創立50周年記念式典
創立50周年記念のミサが鎌倉芸術館で、また記念式典が本校講堂で挙行されました。

2002(平成14)年 ラファエラ館増改築工事完成④
講堂棟改修工事完成
音楽室、美術室、特別教室、オラトリオ(小聖堂)、宿泊研修室等が完成し、講堂本館との連絡ブリッジ通路も開通しました。
また講堂ロビー、校長室、職員室等が改修されました。

2011(平成23)年 南教室棟 免震方式の耐震補強工事完了
最新の免震方式による耐震補強工事が完了しました。

2012(平成24)年 東棟・西棟・図書館棟・北棟・講堂棟耐震補強工事完了

2016(平成28)年 各教室に電子黒板とプロジェクター設置
教科指導強化の目的で中学・高校の各教室に最新の電子機器を設置しました。

2017(平成29)年 校内Wi-Fi環境整備完了
タブレット導入に向けた設備としてWi-Fiの環境を整備しました。

2018(平成30)・2021(令和3)年 学校情報化優良校認定
日本教育工学協会より「学校情報化優良校」として認定されました。

2023(令和5)年 創立75周年



②



③



④

姉妹校のご紹介



清泉女子大学
〒141-8642
東京都品川区東五反田
3-16-21
TEL: 03-3447-5551



**清泉女学院大学
清泉女学院短期大学**
〒381-0085
長野県長野市上野
2-120-8
TEL: 026-295-5665

※2025年度より
「清泉大学」に名称変更



**長野清泉女学院
中学・高等学校**
〒380-0801
長野県長野市箱清水
1-9-19
TEL: 026-234-2301

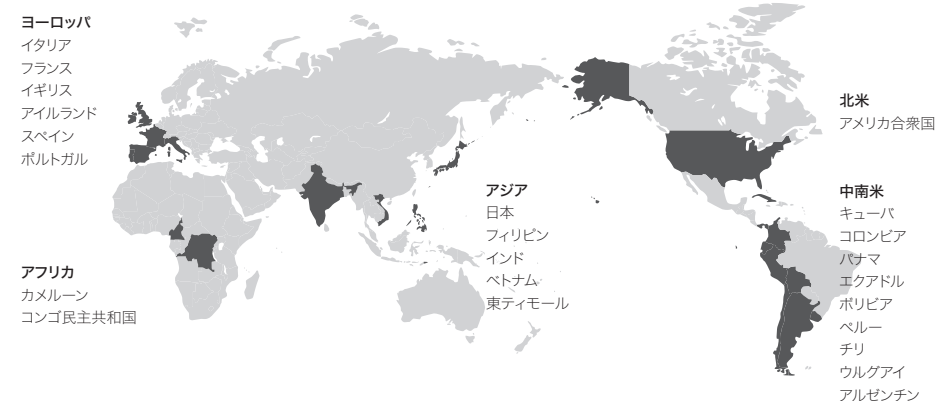


清泉小学校
〒248-0005
神奈川県鎌倉市雷ノ下
3-11-45
TEL: 0467-25-1100



**清泉
インターナショナル
スクール**
〒158-0097
東京都世田谷区用賀
1-12-15
TEL: 03-3704-2661

世界に広がる修道会・姉妹校ネットワーク



ヨーロッパ
イタリア
フランス
イギリス
アイルランド
スペイン
ポルトガル

アジア
日本
フィリピン
インド
ベトナム
東ティモール

アフリカ
カメルーン
コンゴ民主共和国

北米
アメリカ合衆国

中南米
キューバ
コロンビア
パナマ
エクアドル
ポリビア
ペルー
チリ
ウルグアイ
アルゼンチン

スペインにルーツがある清泉女学院は、国内の6校のみならず、世界およそ20か国40校ほどの姉妹校を持っています。すべての学校で同じ教育理念と価値観を共有し、平和の種を蒔く人を育てています。また、母体である聖心侍女修道会のシスターは、24の国と地域で人々とともに働いています。